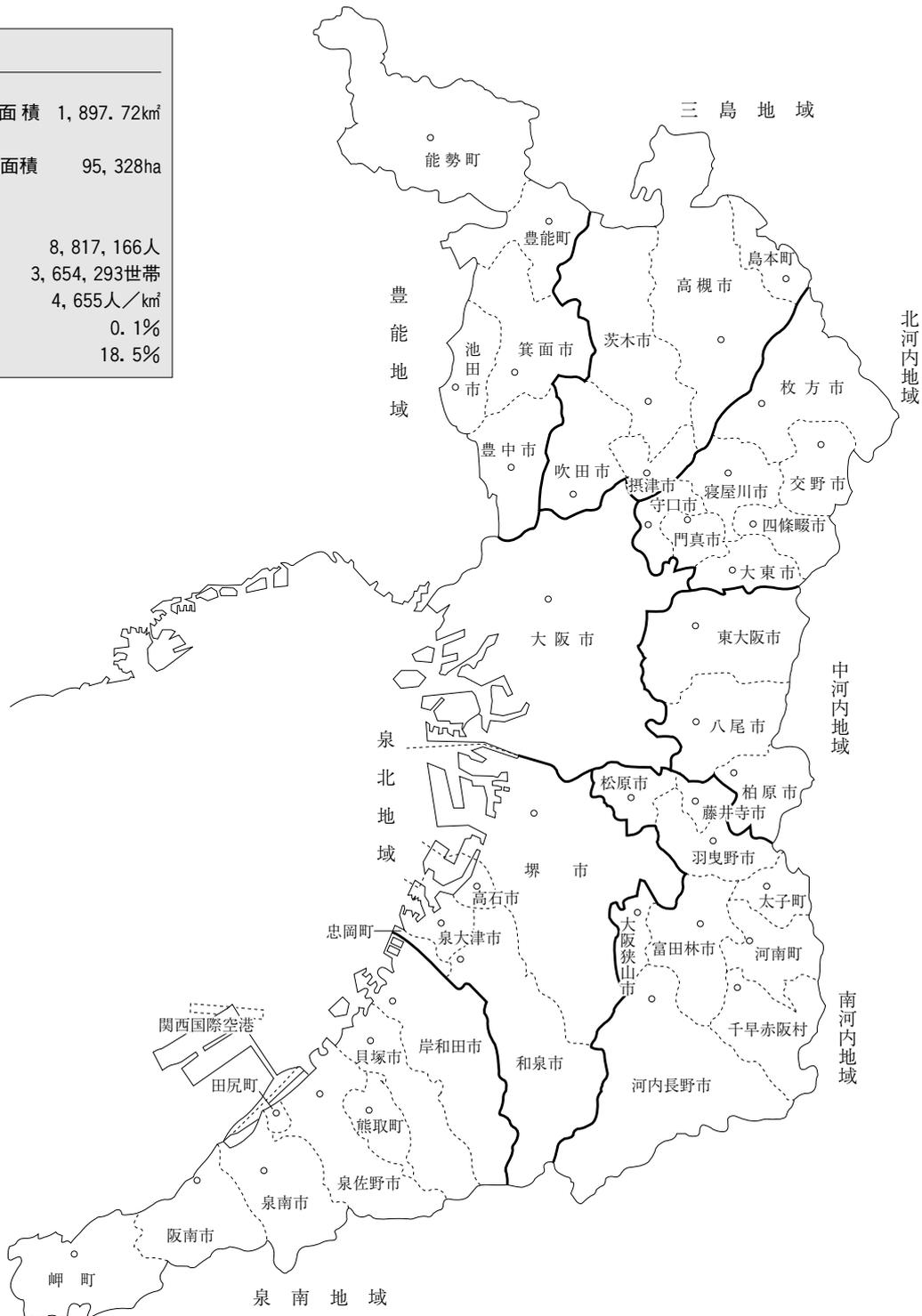


特集

平成20年度府内市町村当初予算の概要 予算の特色と施策体系別主要事業一覧

大阪府	
■面積	
行政区域面積	1,897.72km ²
市街化区域面積	95,328ha
■人口動態	
人口	8,817,166人
世帯数	3,654,293世帯
人口密度	4,655人/km ²
人口伸率	0.1%
高齢化率	18.5%



利用上の注意

- ① 行政区域面積は、国土交通省国土地理院「平成19年全国都道府県市区町村別面積調」（平成19年10月1日現在）による。
ただし、境界未定団体（大阪府内では大阪市淀川区、豊中市）については、総務省統計局において推定した数値である。
- ② 市街化区域面積は、大阪府都市整備部総合計画課（平成20年3月現在）による。
- ③ 人口、世帯数、人口密度、人口伸率は総務省統計局平成17年国勢調査による。高齢化率は、総務省統計局平成17年国勢調査による。
* 人口伸率は、平成17年と平成12年の国勢調査人口の比較である。
* 高齢化率は、総人口に占める65歳以上の人口の割合である。
- ④ **骨格** = 平成20年度骨格予算 **暫定** = 平成20年度暫定予算 ※ = 平成19年度骨格予算
* 平成19年度当初予算を骨格予算で編成した団体については、平成20年度当初予算総額・一般会計予算の対前年度比を「骨格予算比（肉付け後予算比）」としている。

豊能地域



能勢町

■面積	
行政区域面積	98.68km ²
市街化区域面積	103ha
■人口動態	
人口	12,897人
世帯数	3,844世帯
人口密度	131人/km ²
人口伸率	△9.1%
高齢化率	22.6%

豊能町

■面積	
行政区域面積	34.37km ²
市街化区域面積	315ha
■人口動態	
人口	23,928人
世帯数	7,925世帯
人口密度	696人/km ²
人口伸率	△7.0%
高齢化率	19.3%

箕面市

■面積	
行政区域面積	47.84km ²
市街化区域面積	1,985ha
■人口動態	
人口	127,135人
世帯数	51,646世帯
人口密度	2,658人/km ²
人口伸率	1.8%
高齢化率	16.8%

池田市

■面積	
行政区域面積	22.09km ²
市街化区域面積	1,088ha
■人口動態	
人口	101,616人
世帯数	43,401世帯
人口密度	4,596人/km ²
人口伸率	0.1%
高齢化率	18.7%

豊中市

■面積	
行政区域面積	36.38km ²
市街化区域面積	3,660ha
■人口動態	
人口	386,623人
世帯数	161,418世帯
人口密度	10,627人/km ²
人口伸率	△1.3%
高齢化率	18.4%

I. 予算の特色

当市は「子ども達の未来が輝くまちづくり」を目標として掲げ、基本政策である「教育文化都市」「安心安全都市」「市民自治都市」「活力都市」「環境共生都市」「自主自律都市」の6つの都市像の実現に向けて、14項目の重点施策を推進するための事業を最優先に位置付け、選択と集中に基づく市政運営を進めている。平成20年度には、限られた財源の中から重点予算枠を確保し、特に、学校教育の充実、子育て支援の充実、地域コミュニティの再生のほか、産業振興施策の新たな展開や、耐震化事業などに重点的に取り組み、市の基本政策である教育文化都市など6つの都市像の実現をめざしている。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 教育文化都市とよなかの創造		3. 市民自治都市とよなかの創造	
①(仮称)教育振興計画の策定 ^新	538	①自治基本条例に基づく取り組みの推進	186
②とよなか「学び」プロジェクト事業 ^新	1,658	②(仮称)コミュニティ基本方針の策定	150
③学校問題解決支援事業 ^新	874	③DV防止基本計画の策定	6
④耐震化推進事業(義務教育施設) ^新	51,725	4. 活力都市とよなかの創造	
⑤中学校少人数学級事業充実	6,577	①旧市立豊中病院跡地活用の事業化(土壌対策)	51,200
⑥南郷目代今西氏屋敷国指定史跡化の推進 ^新	112	②豊中駅前まちづくり基本方針(交通計画)検討調査	360
⑦市指定史跡原田城跡・国登録文化財旧羽室家住宅の整備 ^新	48,199	③指定道路台帳システム開発業務 ^新	869
⑧こんには赤ちゃん事業 ^新	567	④重点整備地区の交通バリアフリー整備の推進	43,533
⑨民間保育所の運営助成 ^新	81,718	⑤豊中市企業立地促進条例に基づく事業の推進 ^新	12
⑩放課後子どもクラブ事業41クラブ(市立の全小学校に設置)	44,410	5. 環境共生都市とよなかの創造	
⑪少年自然の家及び青少年野外活動センターの活性化	515	①地域省エネルギービジョンの推進	308
2. 安全安心都市とよなかの創造		②地球温暖化防止対策の推進	1,628
①防災行政無線の再整備 ^新	699	③国連「持続可能な開発のための教育(ESD)の10年」の推進	128
②市内水防観測設備整備事業 ^新	5,000	④クリーンランド新ごみ処理施設整備計画に基づく準備工事に伴う関連事業	4,973
③消防自動車等の更新整備(8台)	16,764	6. 自主自立都市とよなかの創造	
④耐震性貯水槽(3基)	5,664	①市税徴収事務の一部民間活用導入 ^新	1,208
⑤特定建築物等の耐震診断補助(住宅40棟、特定建築物2棟)	380	②証明書自動交付機の導入 ^新	1,346
⑥既存民間木造住宅耐震改修補助(5棟) ^新	300	③戸籍の電算化事業	9,048
⑦耐震化推進事業(義務教育施設以外) ^新	5,307	④電子自治体推進に向けての取り組み	3,140
⑧豊能広域急病センターの運営	1,404	⑤多様な情報発信手法の複合的活用	1,000
⑨二次救急医療対策事業運営費・設備整備費補助金	7,357	⑥議会インターネット中継の基盤整備	3,700
⑩食育推進事業	342		

I. 予算の特色

平成18年度一般会計決算では、6年連続の黒字決算となったとはいえ、これには基金の取り崩しや市有地の売却、さらには退職手当債の発行などによる臨時的収入が含まれており、また個人市民税は2年連続増加しているものの、3年ぶりに市税収入が減少するなど、経常収支比率も13年連続で100%を超え、硬直化した財政構造が続いている。このような状況の中、総合計画の第3期実施計画を念頭に、行政評価により事業の必要性や市民ニーズを総点検し、限られた予算を重点配分して予算編成を行った。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. いきいきと輝く にぎわいのあるまち		3. のびのび暮らす うるおいのあるまち	
①既存民間建築物アスベスト対策補助事業	1,000	①環境基本計画推進事業	168
②既存民間建築物耐震改修補助事業 ^新	180	②ごみ減量化推進事業	1,001
③歩道改良工事事業	1,100	③環境基金活用事業 ^新	1,300
④中心市街地活性化対策事業	580	④防災対策事業	354
⑤植木産業活性化事業	85	⑤自主防災組織育成事業	249
⑥住民情報システム管理事業	15,390	⑥交通安全啓発事業	666
⑦ホームページ情報発信事業	359	⑦まちなみ保存補助事業	800
⑧戸籍電算化事業 ^新	3,322	⑧新エネルギービジョン推進事業	850
⑨細河いらっしやい祭開催事業	100	⑨指定袋制実施事業	7,491
2. ふれあいで築く いきがいのあるまち		4. 個性をいかした みりょくのあるまち	
①エンゼル祝金交付事業	550	①落語みゅーじあむ事業	2,060
②乳幼児エンゼル医療費助成事業	15,895	②国際交流推進事業	402
③子ども見守り委員会運営事業	15	③青少年国際交流事業	115
④地域子育て支援拠点事業	1,798	④まちかどギャラリー事業	73
⑤親子ふれあいDAY助成事業	17	5. にんげんを育む やさしさのあるまち	
⑥若葉ママ応援事業	47	①教育タウンミーティング事業	6
⑦子育て支援パンフレット作成事業	7	②「教育のまち池田」特区推進事業	7,812
⑧母子家庭自立支援給付事業	723	③「教育のまち池田」総合企画推進事業	78
⑨留守家庭児童会運営事業	647	④ふれあい教育推進事業	110
⑩幼稚園児エンゼル補助金交付事業	173	⑤特別支援教育推進事業	834
⑪私立幼稚園就園助成事業 ^新	360	⑥情報教育環境整備事業	1,787
⑫私立幼稚園補助等事業 ^新	640	⑦子ども安全対策事業	2,234
⑬保育所児童エンゼル補助金交付事業	624	⑧児童生徒総合支援事業	658
⑭保育施設整備事業	1,030	⑨卓球のまちづくり事業	198
⑮送迎保育ステーション事業	2,593	6. 行財政を確立し 未来につなぐまち	
⑯保健福祉総合センター建設事業	147,000	①地域分権推進事業 ^新	6,852
⑰妊婦・乳児健康診査事業	2,251	②総合計画策定事業 ^新	500
⑱訪問指導事業 ^新	453	③市制施行70周年記念事業 ^新	1,379

箕面市

平成20年度当初予算総額 216,752百万円 対前年度比 20.1%増
 平成20年度一般会計予算 38,100百万円 対前年度比 0.8%減

I. 予算の特色

特に力点を置いた重要施策は次の3点。

1. まちづくりの基本は循環と創造

持続可能なまち箕面をめざして、「水」「みどり」「ごみ」「情報」「交通」の循環と、「自然エネルギーの創造」を基本コンセプトに施策を展開していく。

2. すべての市民がいきいきと暮らせるまち

地域課題の解決に向けて取り組む人材の育成等をめざして、(仮称)市民大学を開設し、市民同士の交流や協働を進めるとともに、子育てや障がい者施策、バリアフリー化、男女協働参画にかかる取り組みなど、すべての市民がいきいきと暮らせるまちづくりを推進する。

3. まちづくりの主体は市民

市民主体のまちづくり、公益の向上をめざして、市民からの創造的な企画提案を募集し、新たな協働事業などを展開していく。また、将来に向けて、市民協働を市民自らも支えていくという機運を醸成できるような仕組みや、地域コミュニティのより一層の活性化につながる仕組みの実現に向けて、地域分権を発展させていく。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
〈安心してらせるまちづくり〉		④(仮称)市民大学運営事業 ^断	85
1. 保健・医療・福祉の充実		⑤文化生涯学習情報提供事業	723
①母子保健事業	5,863	2. 自然環境の保全	
②予防接種事業	16,531	①(仮称)環境美化条例制定検討事業	20
③次世代育成支援行動計画(後期)策定事業 ^断	376	②環境政策推進事業	510
④学童保育実施事業	18,356	③鳥獣保護事業	496
学童保育実施事業(臨時)	419	3. 産業の振興	
⑤休日保育事業 ^断	318	①中心市街地振興事業	1,128
⑥後期高齢者医療費負担事業 ^断	59,566	〈暮らしを支えるまちづくり〉	
2. 生活環境の整備と保全		1. 秩序ある市街地の形成	
①次期住宅マスタープラン策定事業 ^断	596	①都市計画推進事業	501
②公園施設補修事業	5,119	②彩都地区小中一貫校整備事業 ^断	—
3. 安全の確保		③水と緑の健康都市周辺地域整備計画策定事業	
①第一中学校改築事業	26,546		24
第一中学校改築事業(継続費)	159,544	④桜井駅前地区再整備事業	29
②施設耐震補強事業(小学校)	420	⑤都計道路小野原豊中線道路改良事業	73,087
③住宅・建築物耐震改修促進事業	671	⑥市道箕面土地5号線コミュニティ道路整備事業	
④公共施設AED設置事業	467	^断	7,434
⑤防災行政無線整備事業	191	⑦北大阪急行線延伸構想推進事業	1,548
⑥通信事業(消防本部)	2,581	⑧市内公共交通整備事業	777
⑦常備消防車両購入更新事業	9,359	⑨鉄道駅バリアフリー化設備整備事業 ^断	3,500
〈いきいきとらせるまちづくり〉		⑩都市景観形成事業	371
1. 文化の振興と教育・学習環境の充実		2. 多様な市民活動の推進	
①男女協働参画計画推進事業	71	①次期総合計画策定事業	1,336
②市民文化ホール改修等事業	679	②地域コミュニティ推進事業 ^断	22
③教育専門員配置事業 ^断	903	③協働フロンティア事業 ^断	9

I. 予算の特色

平成20年度予算は、新行財政改革推進計画案（平成18年3月策定）に示しています、財政再建に向けた緊急取組期間（平成18～20年度）であるため、計画に掲げている見直し項目の大半を予算に反映させ、前年度より約1億2千万円の効果額を予算に反映した。

また、少子高齢化が進展する中、町の活性化を図るため、「安心して、いきいきと暮らせるまちづくり」の実現に向けた諸施策（地域における育児の援助活動を支援するファミリーサポート支援事業など）を予算に計上している。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 一人ひとりが輝くまち		4. 活力と働きがいのあるまち	
①中学校施設整備事業	1,682	①高山地区まちづくり事業	21,843
②小学校施設整備事業	686	②消費生活啓発シール作成事業 ^新	15
③西公民館屋根改修事業 ^新	594	③多重債務者対策事業 ^新	13
④吉川プール解体整備事業	350	5. 計画推進のために	
⑤放課後子ども教室推進事業	179	①第4次総合計画策定事業	396
⑥大堂キャンプ場解体事業 ^新	158	②（仮称）猪名川上流の地域資源を活用するネットワーク会議事業 ^新	3
⑦いじめ不登校対策事業	148		
⑧オンリーワン・スクール事業	102		
⑨とよのの民話収集・保存事業 ^新	31		
2. 健康で安心して暮らせるまち			
①麻しん排除計画推進事業 ^新	471		
②妊婦健診公費負担拡大事業 ^新	166		
③ファミリーサポート支援事業 ^新	25		
④保育所・幼稚園の今後のあり方検討事業 ^新	7		
3. うるおいと環境共生のまち			
①猪名川上流広域ごみ処理施設組合負担金事業	13,053		
②衛生センター施設整備修理事業 ^新	4,807		
③野間口地域下水道操出金事業（臨時分） ^新	1,183		
④町営野間口住宅耐震診断事業 ^新	329		
⑤路線バスICカードシステム導入補助事業 ^新	86		
⑥消防教育派遣事業	38		
⑦豊能町展事業	23		
⑧既存民間建築物耐震診断補助事業 ^新	23		

能勢町

平成20年度当初予算総額 8,317百万円 対前年度比 9.1%減
 平成20年度一般会計予算 4,025百万円 対前年度比 3.1%増

I. 予算の特色

かねていい続けている「あるお金で予算を組む」ということを基本とし、施策の重点化をはかりつつ、昨年度に引き続き「緊縮を是」とし、事務事業評価により各種の事業費をゼロベースで見直し、部局ごとに歳出一般財源を「枠配分方式」により配分し、予算編成事務にあたった。

一般会計については、後期高齢医療制度の創設、猪名川上流広域ごみ処理施設建設に係る事業量の増加や消防団機動隊の高規格ポンプ車2台の更新経費等の計上により、対前年度比、1億2千万円増の40億2,500万円の計上となった。

また、7特別会計と1事業会計を加えた、9会計の予算総額は、後期高齢者医療制度の創設による被保険者数の減少に伴う国民健康保険特別会計と統合簡易水道整備事業費の減少による水道事業会計の減額などにより、対前年度比で、8億2,959万円減の83億1,699万円の計上となった。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 能勢の美しい景観と環境の育成		3. ふれあいと生きがいのある地域づくり	
①し尿処理施設建設事業（債務負担行為）	1,480	①身体障害者福祉事業	13,158
②公共下水道事業（処理場増設等）	52,295	②老人福祉事業	1,244
③農業集落排水事業（処理場建設等）	15,147	③福祉医療（乳幼児等）医療助成費	4,880
④豊能郡環境施設組合負担金事業	15,360	④次世代育成対策（子育て支援）事業	303
⑤猪名川上流広域ごみ処理施設組合負担金事業 （広域ごみ処理施設建設）	7,431	⑤次世代育成支援行動（後期）計画策定 ^新	100
⑥環境基金事業	610	⑥児童福祉施設（保育所）運営	13,831
⑦地方バス路線維持費補助	2,270	⑦子育て支援センター運営	899
⑧森林整備・松くい虫防除事業	865	⑧学童保育事業（放課後児童クラブ）	508
⑨消防団機動隊高規格ポンプ車更新 ^新	4,822	⑨私立幼稚園就園関係助成・補助	3,436
⑩ごみ分別収集体制整備 ^新	1,001	⑩後期高齢者医療広域連合負担金等	15,475
⑪町道整備事業	3,400	⑪妊産婦健診費用の助成回数拡大 ^新	170
⑫町道維持原材料支給・除草報償等	758	⑫特定健康診査・保健指導 ^新	843
2. 人材の育成と能勢文化の創造		4. 自然を活かした個性ある産業の育成	
①浄るりシアター自主事業	1,000	①里山再生整備事業 ^新	400
②公立文化施設活性化支援事業 ^新	1,880	②能勢栗振興事業 ^新	72
③放課後子ども教室（元気広場）運営	287	③経営体育成基盤整備事業	630
④学校教育検討委員会設置（新）	88	④農地・水・環境保全向上対策事業	600
⑤小中高連携事業・中高一貫教育	254	⑤耕作推進支援事業 ^新	258
⑥小学校情報処理教室パソコン更新 ^新	470	⑥団体営ほ場整備事業換地業務	6,632
⑦外国人教師招致事業（小・中学校）	1,108	⑦観光振興事業・観光案内所運営	200
⑧不登校支援対策	100	⑧土地利用計画調査事業	291
⑨子どもと親の相談員活用調査研究事業	140	⑨商工支援事業	430
⑩学校安全対策事業	1,256	5. 計画の推進に向けて	
⑪浄るり公演事業	171	①広域連携事業	36
⑫小学校施設整備	1,091	②広報「のせ」「声の広報」発行	638
⑬中学校施設整備	1,040	③住民自治推進支援事業・協働事業交付金	500
⑭地域情報整備事業 ^新	200	④総合行政システム管理運用	6,468
		⑤職員研修事業	195

三島地域

高槻市

■面積

行政区域面積 105.31km²

市街化区域面積 3,329ha

■人口動態

人口 351,826人

世帯数 137,755世帯

人口密度 3,341人/km²

人口伸率 △1.6%

高齢化率 19.0%

島本町

■面積

行政区域面積 16.78km²

市街化区域面積 337ha

■人口動態

人口 29,052人

世帯数 10,867世帯

人口密度 1,731人/km²

人口伸率 △3.6%

高齢化率 16.9%



茨木市

■面積

行政区域面積 76.52km²

市街化区域面積 3,319ha

■人口動態

人口 267,961人

世帯数 105,782世帯

人口密度 3,502人/km²

人口伸率 2.8%

高齢化率 15.5%

吹田市

■面積

行政区域面積 36.11km²

市街化区域面積 3,611ha

■人口動態

人口 353,885人

世帯数 149,525世帯

人口密度 9,800人/km²

人口伸率 1.7%

高齢化率 16.1%

摂津市

■面積

行政区域面積 14.88km²

市街化区域面積 1,349ha

■人口動態

人口 85,009人

世帯数 34,048世帯

人口密度 5,717人/km²

人口伸率 △0.1%

高齢化率 14.9%

I. 予算の特色

税制改正等の要因により前年度同様市税収入の増が見込まれる一方で、三位一体改革の影響において本市では減収となる見込みに加えて大阪府からの補助金が見直されるなど、依然、歳入面では予断を許さない状況にある。このような状況のもと地方分権型社会の推進を目指すべく本市独自の政策課題を46項目にまとめた重点プログラム及び136項目からなるまちづくり推進ポリシーに掲げる事業へ予算の重点をおいた。また、経常的物件費や維持補修費については各部局が施策・事業の選択と集中を図ったうえ、限りある財源を効果的に活用できるよう自ら編成を行う枠配分型予算を継続し、効率の追求に努めた。しかしながら、20年度は退職金の増や大型事業の実施などの新しい要素に対応する必要が生じ、財政調整基金の取崩しや赤字地方債の発行に頼らざるを得ない厳しい予算編成となった。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. すべての人がいきいき輝くまちづくり		5. 環境を守り育てるまちづくり	
①平和大使派遣事業 ^新	199	①ごみ処理施設の整備	490,888
2. 市民自治が育む自立のまちづくり		②環境配慮指針策定事業 ^新	273
①戸籍等情報システム導入事業	28,763	6. 安全で魅力的なまちづくり	
②市民協働学習センター事業	214	①千里山駅周辺整備事業	800
③通信・情報機器の活用	45,751	②千里南地区センター再整備事業	3,800
④情報技術を利用した情報の共有化	9,122	③東部拠点整備事業	246,179
3. 健康で安心して暮らせるまちづくり		④西吹田駅前線立体交差事業	2,885
①高齢者ランチルームモデル事業 ^新	80	⑤防災行政無線デジタル化改修 ^新	6,925
②生活機能評価事業 ^新	14,131	⑥すいた地籍調査官民境界等先行型促進事業 ^新	976
③日中活動重度障害者支援事業 ^新	12,070	⑦雨水貯留タンク設置助成事業 ^新	96
④中国残留邦人生活支援事業 ^新	10,368	7. 活力あふれにぎわいのあるまちづくり	
⑤国保健診・保健指導事業 ^新	23,063	①J O Bカフェ運営事業 ^新	4,024
⑥30歳代健康診査 ^新	8,607	8. 基本計画推進のために	
⑦聴力検診 ^新	200	①市庁舎電算用非常電気設備設置	9,500
⑧C型・B型肝炎ウイルス検診 ^新	590	②まちづくり政策研究所の運営	997
⑨ペプシノゲン胃検診 ^新	493		
4. 個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
①小中学校における35人学級の導入事業 ^新	1,620		
②子どもサポートチーム事業 ^新	323		
③教職員元気アッププラン事業 ^新	200		
④学校問題解決支援事業 ^新	321		
⑤教育研究大会事業 ^新	92		
⑥文化振興基本計画策定事業 ^新	38		

I. 予算の特色

少子高齢化の進行、多様化する市民ニーズ、国の歳出・歳入一体改革にむけた歳出削減など、本市を取り巻く環境が一層厳しさを増してきている中、限られた経営資源を有効に活用するべく、業務精査への取組みを中心として、事務事業をゼロベースから見直すことにより、5つの重点施策である「子育て・教育・食育」、「安全・安心のまちづくり」、「都市機能の充実」、「高齢者・福祉・医療」、「市民参加・市民協働」への取組みに対して重点的に予算を配分した。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 心がかよう共につくるまちづくり		〃 (周辺道路整備)	74,309
①市民協働のまちづくり事業 ^新	111	⑤富田駅周辺のまちづくり検討	219
2. やさしさとやすらぎのまちづくり		⑥都市計画マスタープラン策定基礎調査 ^新	211
①保育所の新設・改築等による定員増 ^新	7,769	⑦都市景観形成	762
②乳児を中心とした新たな保育制度創設 ^新		⑧芥川創生の取組 (津之江公園整備)	17,250
(保護者負担軽減、認定保育施設へ助成)	6,196	5. 安全で快適なまちづくり	
③庄所子育てすくすくセンター開設 ^新		①公共施設の耐震化	
(乳幼児の一時預かり事業の実施など)	1,259	(小中学校体育館等)	62,500
④こにちは赤ちゃん事業 ^新	517	②道路橋梁の耐震補強工事	2,500
⑤後期高齢者医療制度の実施 ^新	941,143	③公共施設耐震化基金	100,000
⑥地域密着型介護施設等の整備	38,494	④消防本部建て替えに向けた実施設計	6,098
⑦高齢者虐待防止への取組	42	⑤民間建築物の耐震化 (診断・工事助成)	3,040
⑧認知症高齢者を支える取組	85	⑥自主防災組織への支援、防災啓発等	1,108
⑨第3次障害者長期行動計画等の策定	407	⑦安全啓発エコバックの配布等 ^新	550
⑩特定健診・特定保健指導の実施	25,148	⑧救急業務の高度化	1,400
⑪基本健康診査の無料化と対象年齢拡大	4,807	⑨地球温暖化防止対策	
⑫がん検診の充実 (前立腺がん検診)	32,377	(ペレットストーブ導入補助 ^新 他)	1,502
⑬人間ドック受診への助成拡大	5,040	⑩コンビニ収納の開始 (軽自動車税) ^新	226
3. ひとが輝く育みのまちづくり		6. にぎわいと活力のあるまちづくり	
①学童保育室の整備	7,170	①中心市街地活性化推進事業	771
②小学校の少人数事業を全学年に拡大	126,000	②企業誘致の促進	3,093
③全小学校に学校図書館支援員を配置 ^新	7,321	③農林業活性化方策の検討	57
④食育推進計画の策定、食育フェア開催等	534	④高槻ブランド戦略の検討	108
⑤小学校・幼稚園への警備員の配置	6,700	7. 計画の推進にあたって	
⑥AEDの設置 (全41小学校ほか)	1,751	①市民参加の促進 (市長と語るまちづくり会議、まちづくり提案制度)	3
4. 調和のとれた都市環境のまちづくり		②新総合計画策定基礎調査 ^新	712
①防災公園 (古曽部中央公園) の整備	151,535	③市政施行65周年、中核市移行5周年記念式典	200
②第二名神自動車道 周辺道路整備	13,873		
③交通バリアフリー施設整備事業	45,585		
④J R高槻駅北東地区市街地整備	2,142		

I. 予算の特色

今年度は市長改選年度にあたることから、経常経費を主とした骨格予算であり、「市民が安全で安心して暮らせるための事業」「医療制度改革等の新たな制度に対応するための事業」「当初予算から実施する方が効果がある新規拡充事業」を基本に予算を編成し、さらなる市民サービスの向上施策は6月補正予算において対応する。また、今年度は市制施行60周年にあたるため、記念式典や各種記念事業を実施するとともに、財政の健全性を念頭に、市債の発行の抑制や財政調整基金からの繰入金の減額などを行った。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 行財政改革を推進し、時代の変化に対応できる、健全な行財政運営を		⑦子ども支援協力員の増員	1,030
①指定管理者制度の導入	6,100	⑧学校図書館教育推進交付金の創設	235
②広報いばらきの充実	3,929	⑨教育相談員の増員・相談室の増設	2,116
③総合評価一般競争入札制度の導入	7	⑩小・中学校施設の整備	48,560
④市制施行60周年記念事業	11,017	⑪幼稚園施設の整備	2,004
2. 保健・医療・福祉を充実して、人権が尊重される都市づくりを		⑫小中学校屋内運動場等の耐震補強の推進	35,213
①共同生活介護（ケアホーム）等開設補助制度の拡充	1,889	⑬彩都西小学校校舎増築事業	46,473
②障害者移動支援従事者養成研修の実施	207	⑭生涯学習センター講座の充実	6,875
③障害福祉計画の策定	370	⑮元茨木川緑地彫刻コンクールの実施	943
④高齢者ごいっしょサービス事業	68	⑯元茨木川緑地歴史ウォークの実施	211
⑤家族介護用品支給事業の拡充	736	⑰文化財資料館内DVDコーナーの設置	400
⑥高齢者保健福祉計画等の策定	821	⑱子ども読書活動推進事業	355
⑦特定健診・特定保健指導の実施	17,993	5. 次代をになう子どもたちへの施策を充実し、少子化対策の推進を	
⑧がん健診の充実	34,572	①認定こども園運営費等補助事業	1,054
⑨人権週間記念講演会の開催	134	②次世代育成支援行動計画の見直し	307
3. 地域経済を活性化し、商工業と農林業の振興を		③地域子育て支援拠点事業	8,408
①産業フォーラムの開催	350	④私立保育所運営補助事業	71,681
②中小企業経営アドバイザーの充実	416	6. 住みよい生活環境をまもり、安全・安心な都市づくりを	
③（仮称）彩都新バイオインキュベータ運営負担金	1,755	①道路の新設・改良	11,000
④企業立地促進奨励金	24,800	②街路の整備	58,087
4. 教育・文化やスポーツを振興して、活力に満ちた文化都市づくりを		③橋梁の新設・改良	23,793
①放課後子ども教室推進事業	5,199	④下水道整備の推進	141,610
②留守家庭児童会の1時間延長の通年化	1,917	⑤放置自転車等の夜間撤去	71
③小学校学校給食委託化の推進	6,833	⑥茨木市都市景観賞表彰式・記念講演会の開催	136
④中学校ランチ事業の拡充	7,545	⑦生活環境の保全に向けた調査の実施	900
⑤小学校ALT（外国人英語活動指導助手）の増員	1,008	⑧駅前広場内路上ガムの除去	252
⑥学びサポートチーム派遣員の拡充	3,213	⑨幼稚園園庭の緑化	525
		⑩地震防災マップの作成・配布	673
		⑪地震対策推進事業補助金の拡充	1,075

I. 予算の特色

歳入の根幹となる市税収入が、好調な法人市民税等に支えられる見通しであるが、すでに始まっている団塊世代の退職、格差社会の到来による中間所得層の減少により、中長期的に見ると歳入は先細りの状況であり、引き続き厳しい財政状況である。そのような中ではあるが、夢多き活気あふれるまちづくりをめざし、歩みを始めるとともに、子どもがすくすく育ち、高齢者が活き活き暮らす、安全・安心のまちづくりにむけた予算編成を行った。どうしても必要なこと、今実行に移さなくてはならないことを、将来のために、機を逃さず進めていく。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 快適な都市機能		⑨安全対策事業	1,667
①千里丘西地区市街地再開発支援事業	713	⑩せつつ生涯学習大学事業 ^新	100
②南千里丘まちづくり事業	124,528	⑪野外活動支援事業 ^新	48
③南千里丘土地区画整理事業	64,536	⑫スポーツセンター管理事業 ^新	2,766
④コミュニティプラザ整備事業	1,010	4. 産業と消費	
⑤吹田操車場跡地まちづくり事業	923	①中小企業育成事業	40
2. 健康な心と体		②地域就労支援事業	189
①介護予防・ふれあい事業	2,300	③消費生活相談ルーム事業	775
②介護給付適正化事業	114	5. 快適な都市環境	
③特定高齢者把握事業	2,574	①市営住宅建替え事業	4,112
④障害者雇用助成事業	410	②正雀駅耐震補強補助事業 ^新	3,000
⑤地域生活支援事業	10,414	③犯罪被害者等支援事業	665
⑥学童保育室施設整備事業	2,747	④震災対策推進事業	630
⑦乳幼児医療費助成事業	14,242	⑤消防本部車両・資機材整備事業	21,106
⑧地域子育て支援補助事業	1,580	⑥温暖化対策事業	74
⑨児童虐待防止キャンペーン事業 ^新	30	⑦ごみ減量啓発事業	229
⑩がん検診事業	2,068	⑧阪急京都線連続立体交差事業	420
⑪妊婦健康診査事業	2,520	⑨狹隘道路整備事業 ^新	2,000
3. 文化と教育		⑩阪急正雀駅前道路改良事業 ^新	6,000
①バンダバーグ市友好都市締結10周年記念事業 ^新	303	⑪公共下水道整備事業	36,335
②文化振興事業 ^新	91	6. 自立と協働	
③学校・家庭連携支援モデル事業	816	①戸籍事務事業	884
④小学1年生等学級補助員配置事業 ^新	1,196	②基幹業務オープンシステム事業	24,243
⑤学校読書活動推進サポーター配置事業 ^新	2,070	③地域コミュニティセンター構想策定事業	29
⑥摂津市小中連携推進事業 ^新	100	④総合計画策定事業 ^新	1,100
⑦学習サポーター派遣事業 ^新	150	⑤インターネット公売事業 ^新	10
⑧小中学校学習環境改善事業 ^新	15,797		

I. 予算の特色

平成20年度の歳入は、町の自主財源である町税収入見込みは、納税者人口や平均所得などの減少により、対前年度比において大幅な減少となる見込みである。一方、地方交付税のうち普通交付税は、増額となり、町債については、前年度の借換債を除き減額とし、将来の公債費負担の抑制に努めた。

歳出は、時代の変革期に対応すべく、第3次島本町総合計画に示された、まちづくりの6つの基本方針である『人間尊重』『自然環境の保全と都市環境の整備』『自律・創造・協働』『まちの基盤整備』『保健・医療・福祉』『教育・生涯学習』に基づき、施策を着実に推進すべく予算編成を行った。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 人間尊重		⑨在宅障害者援護事業	11,137
①人権啓発事業	396	⑩水無瀬駅バリアフリー化事業 ^新	2,222
②社会啓発事業	428	6. 教育・生涯学習	
2. 自然環境の保全と都市環境の整備		①預かり保育事業	153
①森林保全整備事業	560	②小学校施設整備事業	5,146
②環境対策事業	866	③放課後子ども教室の実施	234
③住民地域環境調査実施事業 ^新	343	④英語特区事業	3,402
④不法投棄ごみ防止パトロール事業	230	⑤地域教育の活性化	125
⑤地震防災マップ作成事業 ^新	490	⑥青少年教育事業	374
⑥浸水対策事業	593	⑦スポーツ振興事業	669
⑦放置自転車保管所の整備 ^新	600	⑧史跡桜井駅跡整備事業 ^新	1,503
⑧防犯対策事業	1,413	⑨歴史資料館管理運営事業	548
3. 自律・創造・協働		7. 構想実現に向けて	
①ホームページの充実	327	①第四次島本町総合計画の策定 ^新	768
②自治振興事業	744	②(仮称)まちづくり基本条例制定事業 ^新	94
4. まちの基盤整備			
①島本駅設置事業	13,408		
5. 保健・医療・福祉			
①母子健康事業	1,438		
②地域福祉推進事業	4,507		
③福祉対策事業	3,109		
④地域子育て支援事業	785		
⑤母子自立支援事業	144		
⑥年長者支援事業	1,003		
⑦年長者在宅福祉事業	3,695		
⑧障害者更正援護事業	7,165		

北河内地域

寝屋川市

■面積	
行政区域面積	24.73km ²
市街化区域面積	2,100ha
■人口動態	
人口	241,816人
世帯数	95,896世帯
人口密度	9,778人/km ²
人口伸率	△3.6%
高齢化率	17.3%

枚方市

■面積	
行政区域面積	65.08km ²
市街化区域面積	4,137ha
■人口動態	
人口	404,044人
世帯数	155,551世帯
人口密度	6,208人/km ²
人口伸率	0.4%
高齢化率	16.2%

交野市

■面積	
行政区域面積	25.55km ²
市街化区域面積	916ha
■人口動態	
人口	77,644人
世帯数	27,269世帯
人口密度	3,039人/km ²
人口伸率	0.9%
高齢化率	16.5%

守口市

■面積	
行政区域面積	12.73km ²
市街化区域面積	1,178ha
■人口動態	
人口	147,465人
世帯数	62,928世帯
人口密度	11,584人/km ²
人口伸率	△3.2%
高齢化率	19.9%



門真市

■面積	
行政区域面積	12.28km ²
市街化区域面積	1,186ha
■人口動態	
人口	131,706人
世帯数	55,384世帯
人口密度	10,725人/km ²
人口伸率	△2.9%
高齢化率	17.6%

大東市

■面積	
行政区域面積	18.27km ²
市街化区域面積	1,187ha
■人口動態	
人口	126,504人
世帯数	49,082世帯
人口密度	6,924人/km ²
人口伸率	△1.9%
高齢化率	16.2%

四條畷市

■面積	
行政区域面積	18.74km ²
市街化区域面積	590ha
■人口動態	
人口	57,342人
世帯数	21,412世帯
人口密度	3,060人/km ²
人口伸率	4.0%
高齢化率	15.7%

I. 予算の特色

平成20年2月に財政危機対策指針〔第2次改定版〕を策定し、前回策定の指針に基づく各項目について、当初の財政効果が得られないものの再見直し、未着手項目の前倒しや取組項目の拡充、また、広告料収入をはじめとする新たな財源の確保や未利用地の活用事業などを実施し、さらなる財政の健全化に向け取り組んでいく。

平成20年度は、財政の健全化を進めつつ、限られた予算のなかで、少子化対策、耐震化の推進、ごみ減量対策、教育環境の充実など、市民福祉を向上する施策とのバランスに配慮し、予算を投入した。

平成20年度当初予算の総額は、876億4千2百万円、対前年度比11%減となっており、うち一般会計予算は526億2千万円、対前年度比2.23%減となっている。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 健康で生きいきと暮らすまちづくり		3. 安心安全なまちづくり	
①麻しん・風しん定期予防接種対象拡大	2, 104	①プラスチック製容器包装の収集体制の拡大 ^新	360
②特定健診事業 ^新	15, 240	②事業向けごみ減量冊子の作成 ^新	49
③特定保健指導事業 ^新	97	③ペットボトル収集体制の拡大 ^新	420
④妊婦無料健康診査の拡大 ^新	628	④ごみ焼却炉改良工事 ^新	8, 853
⑤第38回大気汚染公害認定研究会	140	⑤旧し尿処理場土壌調査 ^新	550
⑥中国残留邦人等に対する給付金事業 ^新	765	⑥自主防災組織の結成促進	70
⑦障害者地域雇用支援事業 ^新	375	⑦交通バリアフリー道路の整備（市道守口26号線）	1, 100
⑧第2期障害福祉計画策定	218	⑧交通安全施設整備事業（歩道改良工事）	3, 227
⑨オストメイトトイレ設置 ^新	106	⑨都市計画道路八島大久保線整備事業	12, 224
⑩視覚障害者情報支援機器設置 ^新	100	⑩地上波デジタルTV電波障害影響調査 ^新	483
⑪母子家庭自立支援教育訓練給付金事業 ^新	50	4. 地域の活性化に向けたまちづくり	
⑫民間保育園の建替え補助事業 ^新	12, 042	①未利用地活用事業	210, 012
⑬保育所空調設備工事事業 ^新	1, 039	②「守口大根」生産拡大の促進 ^新	60
⑭老人保健福祉計画策定の見直し	240	5. 市民サービスの向上にむけたまちづくり	
2. 安心して学べる教育環境づくり		①総合基本計画策定事業	1, 300
①小中学校芝生化モデル事業 ^新	550	②市税コンビニエンスストア収納委託事業 ^新	50
②小中学校耐震補強工事	25, 116	③地図情報デジタル化事業 ^新	290
③小中学校耐震診断及び実施設計業務委託	3, 945		
④小学校吹き付けアスベスト除去工事	3, 369		
⑤特別支援教育支援員派遣事業 ^新	240		
⑥小中学校情報機器活用授業促進事業 ^新	891		
⑦（仮称）市民成人大学講座調査研究事業 ^新	891		

I. 予算の特色

平成20年度当初予算は、一般会計で前年度に比べ1億円減(▲0.1%)の1,076億円を計上した。主な内容としては、義務的経費において、職員数の削減や退職手当の減少により人件費は、減少したものの、扶助費は依然増加しており、公債費については、公的資金補償金免除繰上償還及び平成9年度債の借換のため増加となった。一方、投資的経費においては、学習環境PFI事業や駅前広場、教育施設整備等の新規事業を計上したが、2大プロジェクトである東部清掃工場と新火葬場の事業費減少により、総額では減少となった。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 人と自然が共生する環境保全のまち		③後期高齢者医療事業	239,192
①一般廃棄物処理基本計画策定事業(新)	550	④特定健康診査等事業(国民健康保険)(新)	
②ごみ処理(工場)経費(東部清掃工場)(新)			13,960
	26,736	⑤高齢者バスカード事業	1,883
③プラスチック製容器包装類収集事業	14,742	⑥介護保険事業計画策定事業(新)	587
④里山保全支援事業	210	5. ふれあい、学びあい、感動できるまち	
⑤印田町ふれあい公園整備事業	29,599	①保育所ふれあい体験事業(新)	84
2. やすらぎのなか、世代をつないで住み続けられるまち		②枚方第二小学校校舎改築事業	41,720
①既存民間建築物耐震改修促進事業	1,150	③学習環境整備事業(新)	276,378
②新火葬場(枚方市立やすらぎの杜)経費(新)		④基礎学力向上プロジェクト事業	2,691
	12,451	⑤校内LAN整備事業(新)	7,661
③岡本町1号線横断歩道橋設置事業	22,893	⑥英語教育推進事業	10,868
④主要道路リフレッシュ整備事業	6,200	6. みんなでつくる分権・市民参加のまち	
⑤地区計画策定調査委託事業(新)	820	①地域づくりデザイン事業	1,111
⑥京阪本線連続立体交差事業	6,610	②地域通貨事業	350
3. 魅力にあふれ、生き生きとしたまち		③NPO活動支援事業(新)	331
①楠葉中之芝遺跡範囲内容確認調査事業(新)		④包括外部監査関係経費	1,008
	1,388	⑤総合計画関係経費	789
②史跡九頭神廃寺保存整備事業	7,570		
③歴史的景観保全事業	1,860		
④牧野駅東地区周辺整備事業	23,249		
⑤長尾駅前広場整備事業	17,779		
⑥地域経済活性化基金積立金(新)	10,000		
⑦創業実践塾開設事業(新)	100		
4. 健康で心豊かな自立と共生のまち			
①新病院整備実施計画策定事業(新)	2,000		
②食育推進事業	187		

I. 予算の特色

平成20年度予算は、今後さらに厳しくなる財政状況を踏まえ、事業の目的・目標を明確化し、経営感覚とコスト意識を持って、施策・事務事業の優先度、必要性、費用対効果等を踏まえた見直しを行うとともに、あらゆる財源の確保と徹底した歳出の抑制に努め、「最少の経費で最大のサービスを提供する。」ことを目指した。

とりわけ、将来を見据えたまちづくりとして、「寝屋川市駅東地区」「香里園駅東地区」の市街地再開発事業を引き続き推進するとともに、第二京阪道路を利用した魅力ある都市拠点形成のため、寝屋南土地区画整理事業の推進、また、少人数教育の推進や子ども図書室の設置など、「社会の宝」である子どもたちがすこやかに育つための教育施策、妊婦一般健康診査の公費負担の拡充など、少子高齢社会に対応するための福祉施策、安全で安心してらせるまちづくりの施策として、公共施設及び私立幼稚園へのAED設置、また、行財政改革による効果額の一部を基金として積み立て、市民福祉向上のため、新規拡充事業等に充当する「市民福祉向上基金」を今年度新たに設置するなど、さらなる市民サービスの向上につながる予算編成を行った。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 元気でいきいき活動できるまちづくり		⑫健康遊具設置事業	500
①人権尊重のまちづくり条例の推進	—	⑬木造戸建住宅耐震改修補助金 ^新	600
②食育推進事業	406	⑭公共施設及び私立幼稚園へのAED設置	1,220
③妊婦一般健康診査の公費負担の拡大	7,142	⑮防犯灯維持管理・新設改造補助金の拡充	5,194
④コミュニティソーシャルワーカー配置事業	3,480	⑯上水道の安定供給(配水管整備事業)	38,137
⑤地域包括支援センターの増設及び委託化	3,663	⑰浸水対策の推進(水路改修工事等)	10,274
⑥徘徊高齢者の発見支援メール事業 ^新	125	⑱資源ごみ集団回収活動の支援充実	3,736
⑦高齢者住宅用火災警報器設置促進事業	2,430	3. 文化を創造し生きる力を育むまちづくり	
⑧緊急シェルター事業 ^新	81	①小中学校施設の耐震化	46,386
⑨オストメイト対応トイレ整備事業 ^新	313	②学校給食の食器改善	1,138
⑩つどいの広場の新設 ^新	929	③英語指導助手の派遣	5,544
⑪地域子育て支援センターの増設	741	④英検受験料の支援充実	550
⑫こんには赤ちゃん事業及び育児支援家庭訪問事業 ^新	310	⑤少人数教育推進事業 ^新	12,466
2. 安全で安心してらせるまちづくり		⑥学校教育ICT環境整備事業	3,589
①都市計画マスタープランの見直しに向けての基礎調査 ^新	270	⑦東図書館子ども図書室設置事業 ^新	1,820
②寝屋川市駅東地区第二種市街地再開発事業	87,545	⑧子どもの安全見守り隊事業	119
③香里園駅東地区第一種市街地再開発事業	44,590	⑨CAP(子どもへの暴力防止)プログラム	217
④沿道にぎわい創出構想策定事業 ^新	500	⑩新寝屋川八景策定事業	154
⑤寝屋南土地区画整理事業	25,060	4. 暮らしを支える活力あるまちづくり	
⑥JR東寝屋川駅周辺地区交通バリアフリー事業	9,300	①商品券発行等支援事業	1,215
⑦京阪本線連続立体交差事業	2,218	②特産品創造推進事業	150
⑧公共交通対策事業(タウンくる運行)	6,048	③消費生活相談事業(土曜日開庁)	260
⑨都市計画道路寝屋川駅前線事業	1,650	④携帯サイト版行政情報提供システム及びホームページ管理システム	336
⑩都市計画道路萱島堀溝線事業	16,436	5. 元気都市 寝屋川づくりを推進していくために	
⑪市道国守中央南北線事業	11,853	①みんなのまち基本条例推進事業	245
		②生活ガイドブック制作事業 ^新	—
		③第五次総合計画策定のための基礎調査 ^新	500
		④東市民センターのフルオープン化	6

I. 予算の特色

平成20年度予算は、市長選を控えているため骨格予算であるが、厳しい財政状況を踏まえて、市全体が高い政策形成力を備えるとともに、コスト重視、成果重視の考え方を強化して強力な財政基盤を回復していくことが必要であるとし、歳出では非効率な部分を徹底して見直し、歳入では税・料の収納率向上を強化していくものとした。

重点施策としては、本市が国に提案した「頑張る地方応援プログラム」の「子育て支援」「国語力向上」「環境保全」「子ども安全環境」「商工活力基盤再生」の5つのプロジェクトに加え、「安心・安全なまちづくり」および「高齢者の健康づくり」に資する事業を掲げ、これらの事業には積極的に予算に反映させた。

また、職員数の削減に対応するため平成19年に策定した「構造改革指針」に基づき、民間活力の導入や多様な任用制度の構築など、正職員に代わる代替労働力の効果的な活用について、全庁的に検討を行い、市民サービスの維持・向上を図ることとした。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 「互いに尊重し、健やかで、心やすらかに暮らせるまち」に向かって		③東諸福公園新設事業	4,930
①乳幼児医療助成の拡大	16,064	④環境基本計画推進事業	543
②妊産婦健診助成の拡大（母子保健事業費）	1,675	⑤消防力等整備事業	6,918
③特定健康診査・特定保健指導等事業費 ^新	12,351	⑥自動体外式除細動器設置事業	1,248
④地域支援事業（介護予防事業）	2,881	4. 「個性が輝き、活力と魅力にあふれるまち」に向かって	
⑤地域職業相談室事業 ^新	446	①新産業創出・創業支援事業	2,572
2. 「多様な個性が結び合い、心の通う楽しいまち」に向かって		5. 基本計画を推進するにあたって	
①国語力向上事業	5,239	①国民健康保険収納率向上特別対策経費 ^新	653
②小学校空調施設整備事業 ^新	6,166	②下水道台帳システム整備事業	451
③住道北小学校・南郷中学校改築事業	117,331	③給食調理委託事業	22,060
④特別支援教育充実事業 ^新	461	④公用車運転業務委託事業 ^新	297
⑤休日保育事業 ^新	143	⑤車両管理業務委託（車両管理経費）	159
⑥一時保育の充実（法人立保育所運営補助経費）	270		
⑦公立保育所民営化事業	1,891		
3. 「安定した暮らしを支える環境が整ったまち」に向かって			
①管渠築造新設事業	203,676		
②浄化槽設置事業	2,452		

門 真 市

平成20年度当初予算総額 77,006百万円 対前年度比 9.0%減
 平成20年度一般会計予算 45,818百万円 対前年度比 0.7%増

I. 予算の特色

本市の財政状況は、経常収支比率103.1%と財政構造が極めて硬直化している状態にあるため、20年度予算編成より行政の質を確保しつつ、基金依存体質からの脱却を目的として、従来まで行ってきた事業費の積み上げ方式から各部局に対して一定の財源を委譲し、財源配分の自由度を確保した「各部財源委譲型予算編成」方式を採用し、予算の収支均衡を目指した。

本年度は、まちの誇りとなる拠点地区の整備や公共施設の再生を図り「魅力あるまちの顔づくり」を進めるための「幸福町・中町まちづくり基本計画」を策定する。また、部活動及び運動中などの事故の危険性がある市内全小中学校及び市立体育館等の体育施設あわせて25施設にAEDを設置し、市民の安全確保を図る。さらに前年度実施した工業を中心とした基礎調査に引き続き商業及びサービス業を中心とした基礎調査を行い、「門真市産業振興ビジョン」の策定に着手する。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. ゆとりとるおいのある市民生活を創造する都市		4. 安全な市民生活と活力をはぐくむ産業を創造する都市	
①コミュニティソーシャルワーカー配置事業	1,160	①センサー付き防犯照明器具設置補助事業 ^新	832
②障害者日中一時支援事業	1,146	②橋梁等老朽化調査・点検事業 ^新	115
③放課後児童健全育成事業	24,266	③産業振興ビジョン基礎調査事業	100
④市立保育所民営化推進事業	6,045	④多重債務者相談事業 ^新	208
⑤妊婦健康診査拡充事業 ^新	892	5. まちづくり基本目標の実現をめざす行財政運営	
⑥男女共同参画施策推進事業	28	①第5次総合計画策定事業 ^新	1,199
2. あたたかいふれあいのある生活文化を創造する都市		②地域通貨発行支援事業	553
①文化芸術振興基本方針策定事業 ^新	367	③統合型GIS整備事業 ^新	1,332
②学校施設耐震化推進事業 ^新	1,336		
③生涯学習センター運営事業	6,384		
④学校給食棟改修事業 ^新	4,490		
⑤全小中学校等AED設置事業 ^新	141		
3. 快適で便利な都市生活を創造する都市			
①交通バリアフリー化設備整備事業	3,531		
②四宮土地区画整理事業	7,040		
③既存民間建築物耐震改修補助事業 ^新	300		
④公共下水道整備事業	250,000		
⑤住宅市街地総合整備事業	83,696		
⑥幸福町・中町まちづくり基本計画策定事業 ^新	1,278		

I. 予算の特色

平成18年3月に策定した第5次総合計画の目標を達成すべく、市民・行政が一体となって取組みを進め、市民が心安らぎ、まちに活気あふれる「市民が主人公 わがまち四條畷市」の実現を目指していく。

平成20年度の主要な事業としては、地域で福祉を支えるまちづくりを推進するための第2期地域福祉計画の策定をはじめ、粗大ごみ等の収集に際しての申込み制導入によるごみの減量化の推進や民間建築物の耐震診断に対する補助を実施するなど、市民が健康で生きがいを持って生活できる環境づくりや安心・安全に暮らすことができるまちづくりに視点を置いた予算編成を行った。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円	予算額 単位万円
1. 人と自然が共生するまちづくり		③識字施策推進指針に基づく長期計画策定事業
①ごみ減量・再資源化の推進促進事業	71	16
②粗大ごみ等収集にかかる受付制導入事業	516	6. 効率的な行政運営の推進に向けて
③下水道整備事業	19,756	①窓口対応等業務員任用事業
2. 健康につとめ福祉を育むまちづくり		1,318
①第2期地域福祉計画策定事業	126	②職員研修事業
②食育推進計画策定事業	9	172
③成人歯科健康診査事業	319	③戸籍事務電算化事業
④オストメイト対応トイレ改修事業	140	2,672
⑤母子家庭高等技能取得支援事業	82	
3. 快適で安心・安全なまちづくり		
①大型商業施設誘致事業	—	
②既存民間建築物耐震診断促進事業	225	
③砂地区まちづくり協議会支援事業	30	
④都市計画道路雁屋畑線整備事業	54,988	
⑤国道163号高架下利用促進事業	2,042	
⑥消防緊急通信指令台更新事業	5,000	
⑦自主防災組織設立にかかる資機材購入補助事業	214	
4. いきいき交流・ともに参加するまちづくり		
①なわてふれあい商工まつり補助事業	50	
②四條畷楠公まつり補助事業	150	
③商店街の魅力向上に向けた調査研究事業	30	
5. 生きる力を育み文化を育てるまちづくり		
①屋内運動場耐震補強工事事業	8,770	
②社会教育基本指針策定事業	35	

I. 予算の特色

平成20年度予算編成にあたっては、平成19年度に引き続き枠配分による予算とし、財政健全化計画を踏まえ「安心・安全に係る経費」を重点施策としつつ、平成20年度決算から適用される財政健全化法をも視野に入れ徹底した歳出削減を図ることとした。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 自然を守り環境と共生するまちづくり		⑨健康相談・健康教育・訪問指導事業	118
①創造の森の適切な維持管理	50	4. 育ち、学び生きがいのあふれるまちづくり	
②交野山森林公園の活用と維持管理	11,072	①生涯学習機会の充実	8
③緑とリサイクル事業	2,385	②環境についての子どもの交流 [㊦]	21
④環境マネジメントシステム運用	141	③各中学校補修工事	1,764
⑤北河内広域リサイクル共同処理事業	5,065	④放課後子ども教室推進事業	210
⑥市民参加による緑化事業の推進	92	⑤図書館サービスの充実	472
2. 快適で安心して暮らせるまちづくり		⑥生徒指導（相談）体制の充実	796
①災害用救急医薬品	100	⑦支援教育支援員派遣事業 [㊦]	216
②消防ポンプ車更新 [㊦]	3,600	⑧各小学校補修工事	2,281
③道路新設改良事業	6,000	⑨交通専従員設置	1,322
④道路維持工事	9,000	⑩学校給食センター整備事業 [㊦]	0
⑤交通安全施策工事	1,000	⑪小学校英語活動支援事業	228
⑥第二京阪道路高架下利用計画検討作業委託	200	⑫小学校の耐震二次診断	1,255
⑦鉄道駅バリアフリー化設備整備事業補助金	11,483	5. 人と文化が和むまちづくり	
⑧星田新池改修事業	2,100	①国際化・姉妹都市交流の充実	114
⑨私部西線道路事業	840	②文化遺産の適切な維持保全	1,281
⑩産業振興への取り組み	1	③文化財の普及啓発	64
⑪観光振興への取り組み	195	6. 市民とともに活力あふれるまちづくり	
3. 健やかで、支えあい、ふれあいに満ちたまちづくり		①地域施設整備補助金	1,290
①健康管理システムで電算リース料	289	②まちづくりラウンドテーブルの推進	7
②コミュニティソーシャルワーカー配置委託	580	③地域ぐるみのまちづくり	47
③予防接種事業	8,592	④職員研修	413
④母子保健事業	3,634	⑤組織・機構の整備・充実	0
⑤臨時特例基金特別対策事業 [㊦]	350	⑥総合計画策定支援業務委託 [㊦]	400
⑥第二期障害福祉計画策定業務委託	200		
⑦ファミリーサポートセンター事業	270		
⑧地域子育て支援センター事業	1,158		

大 阪 市

大阪市

■面積

行政区域面積 222.30km²

市街化区域面積 21,145ha

■人口動態

人 口 2,628,811人

世 帯 数 1,245,012世帯

人口密度 11,836人/km²

人口伸率 1.2%

高齢化率 20.1%



大阪市

平成20年度当初予算総額 3,855,975百万円 対前年度比 4.6%減
 平成20年度一般会計予算 1,592,504百万円 対前年度比 2.1%減

I. 予算の特色

市民が主役の市政を再生し、大阪の元気を取り戻すため、市民の目線に立ったガラス張りの市政運営を基本として、情報公開を一層充実させ、行財政改革を推進し、施策の選択と集中をはかることとした。

予算編成においては、厳しい財政の現状を踏まえ、財源の確保や人件費・公共事業の削減とともに、こどもたちの育成・支援やセーフティーネットの整備、ポテンシャルを最大限に活かした大阪の活性化などに重点をおくことで、こども、地域、そして大阪が元気になり、市民が安心して暮らし「住んでよかった」と誇りをもてるまちづくりをめざす。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
I. 市民の目線に立った、参加と対話による市政の推進	2,784,600	③中小企業の活性化と消費生活の充実	
1. ガラス張りの市政の実現	1,278,300	④観光集客力の向上	
①経営補佐部門の充実		⑤雇用の安定と創出	
②情報公開の推進と広報機能の充実		2. 芸術・文化・スポーツの振興	761,000
③市民協働と地域のまちづくりの推進		①芸術・文化の振興	
2. 行財政改革の推進	1,506,300	②スポーツの振興	
II. 安心して暮らせる社会の実現	97,525,300	③生涯学習と女性のための施策	
1. 将来を担うこどもたちの育成・支援	9,292,800	④人権施策の推進	
①こども・青少年のための施策		⑤国際交流・協力の推進	
②学校教育の充実		3. 環境にやさしく、住んでよかったと誇れるまちづくり	29,273,200
2. セーフティーネットの整備	86,273,400	①水の都大阪の再生と都市景観の形成	
①高齢者のための施策		②花と緑豊かなまちづくり	
②障害者のための施策		③快適で便利な住環境づくり	
③ホームレス対策と福祉活動の支援など		④ひとにやさしいまちづくりの推進	
④保健・医療の充実		⑤快適な都市環境づくり	
⑤安全・防犯対策の推進		⑥循環型社会の構築	
3. 防災対策の推進	1,959,100	⑦まちの再開発と区画整理	
①防災体制の確立		⑧臨海部のまちづくり	
②都市耐震化の推進		⑨都市交通網の整備	
③治水、浸水対策		⑩道路・橋梁の整備と駐車対策	
④消防力の充実		⑪上水道の整備	
III. ポテンシャルを最大限に活かした大阪の活性化	38,459,800		
1. 経済の活性化と雇用創出	8,425,600		
①都市再生・プロモーションの推進			
②新産業の創出支援			

中河内地域

東大阪市

■面積

行政区域面積 61.81km²

市街化区域面積 4,981ha

■人口動態

人口 513,821人

世帯数 212,072世帯

人口密度 8,313人/km²

人口伸率 △0.2%

高齢化率 18.4%

八尾市

■面積

行政区域面積 41.71km²

市街化区域面積 2,723ha

■人口動態

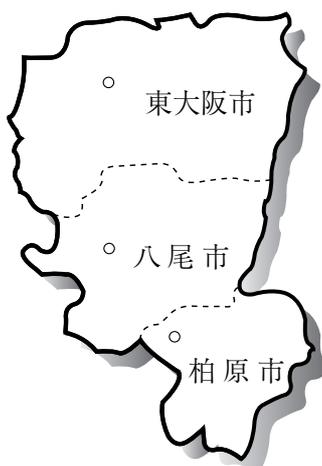
人口 273,487人

世帯数 105,746世帯

人口密度 6,557人/km²

人口伸率 △0.5%

高齢化率 19.2%



柏原市

■面積

行政区域面積 25.39km²

市街化区域面積 931ha

■人口動態

人口 77,034人

世帯数 29,284世帯

人口密度 3,034人/km²

人口伸率 △2.8%

高齢化率 16.9%

八尾市

※

平成20年度当初予算総額 169,741百万円 対前年度比 7.9%減(8.6%減)
 平成20年度一般会計予算 84,878百万円 対前年度比 0.7%減(2.4%減)

I. 予算の特色

「集中改革プラン」や新たに策定した「八尾市行財政改革プログラム」に基づき、引き続き人件費をはじめ事務事業全般の見直しを行うとともに、予算における経費の全般的な見直しを行うため、経常経費及び投資的経費の一部において、要求上限額を設定し財源捻出に努めた。

しかしながら、扶助費においては、生活保護費、保育所運営費等により、補助費等においては、税源移譲後の所得変動に伴う市税還付金返還金の増等により、繰出金においては、後期高齢者医療制度の創設等によりそれぞれ伸びており、人件費、物件費、公債費等の縮減などにより財源捻出を図っているが、全体では歳入歳出差引で30億円の収支不足となり、この不足分を基金で補てんすることにより収支均衡を図った。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 地域経営システム		③豊かな心を育む教育推進事業 ^新	
①IT（情報技術）の活用・推進	2,816	④学校図書館活用推進事業	957
②公共施設機能更新事業	450	⑤学校園支援事業 ^新	70
③八尾市国際化施策推進基本指針・計画の推進	1,311	⑥障害教育振興事業	1,638
④八尾市人権尊重の社会づくり推進事業	575	⑦幼稚園施設整備事業・小学校施設整備事業・中学校施設整備事業	36,474
⑤（仮称）男女共同参画社会推進条例の検討 ^新	32	4. 産業経済	
⑥（仮称）新やお女と男のはつらつプラン策定事業 ^新	393	①ものづくり人材育成支援事業 ^新	41
⑦次世代育成支援行動計画推進事業	732	②地域商業活性化事業	250
⑧（仮称）市民によるまちづくり懇談会運営事業	—	③主要作物販路開拓推進事業	145
⑨地域経営推進事業	57	④有害鳥獣駆除対策事業	190
⑩総合計画の推進（実施計画 他）	832	⑤地域就労支援事業	1,578
2. 健康福祉		5. 生活環境	
①高齢者保健福祉計画の策定 ^新	178	①環境総合計画推進事業	334
②地域包括支援センター運営事業	17,638	②消防署・出張所・団機械器具置場、消防水利、消防資機材整備事業	14,808
③児童虐待防止ネットワーク事業	1,598	③救急隊の分散配置及び救急高度化事業	4,897
④つどいの広場事業	2,157	④土地改良事業（いきいき水路モデル事業） ^新	—
⑤えほんデビュー事業 ^新	250	⑤（仮称）若林地区水防拠点整備促進事業	200
⑥予防接種事業	22,600	⑥貯留浸透施設機能更新事業 ^新	500
⑦生後4か月までの全戸訪問事業 ^新	35	6. 都市基盤	
⑧乳幼児医療費公費負担事業	41,951	①緑化推進事業	1,222
⑨妊婦乳幼児健康診査事業	5,312	②平野川サイクリングロード整備促進事業 ^新	
⑩保健事業（特定健康診査・特定保健指導事業）	15,505	③公的住宅のあり方の検討・整備促進	735
3. 教育文化		④建築物安全・安心実施計画の推進事業	1,606
①歴史資産のまち‘やお’推進事業	137	⑤民間既存建築物の耐震診断・改修促進事業	641
②学校園安全対策支援事業 ^新	269		

I. 予算の特色

一般会計だけを見ると、対前年度当初予算比で4.9%の増だが、これは借換債の影響により公債費が増大したためであり、これらを除いた実質では3.8%の減である。特別会計や企業会計を含めた総額でも、対前年度当初予算費で、9.3%の減となっている。行財政改革、財政の体質改善を引き続き進め、市制施行50周年にあたる平成20年度を新しい柏原を作り上げる年度と位置付けている。

II. 施策体系別主要事業一覧

予算額
単位万円

1. 快適な都市基盤のまちづくり

① 亀の瀬地すべり防止区域整備事業	2,000
② 都市近郊農空間整備事業	5,200
③ 柏原駅西口自転車・自動車駐車場整備事業	21,369
④ 本町4号線整備	14,000
⑤ 河川改修事業	3,700

2. 教育・文化・人権のまちづくり

① スタディ・アフター・スクールモデル事業	700
② 高井田横穴保存事業	577

3. 人にやさしい福祉のまちづくり

① 妊婦健康診査	989
----------	-----

4. 安全・安心なまちづくり

① 小学校校舎耐震化事業	3,347
--------------	-------

5. 市民参加と協働のまちづくり

① 市制50周年記念事業	800
② 戸籍の電算化、市税のコンビニ収納等	3,864
③ 市民協働による緑地整備	1,642

I. 予算の特色

平成20年度の当初予算は、市税収入の大幅な増加が見込めない中、定年退職者数がピークを迎え、財政状況は依然として非常に厳しい状況にある。その中、市民の誰もが安全で、安心で、暮らしやすいと実感できる市民生活の実現に向け、新市長の《三つの改革・再生》《五つの基本政策》を柱に、限られた財源を「安全安心なまちづくり」、「子育て支援」、「障害者の地域生活支援」など喫緊に取り組むべき課題に対応する施策に重点的に予算を配分するとともに、他の課題についても、次年度以降の効率的・効果的な施策展開に備える予算編成を行った。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 市民が主体となったまちづくり		4. 活力ある産業社会を切り拓くまちづくり	
①地域まちづくり活動助成事業	3,122	①モノづくりクラスター推進事業	1,600
②自治会集会所整備助成事業	3,300	②技術交流プラザ事業	1,340
③防犯関係経費	894	③モノづくり立地促進事業	3,725
④男女共同参画プラン推進事業	379	④中小企業融資事業	32,820
⑤電子入札システム導入経費	1,268	⑤小売商業活性化先進モデル事業	1,715
2. 市民文化を育むまちづくり		⑥商業振興ビジョン策定事業	400
①文化推進事業	101	⑦操業環境保全まちづくり支援事業	215
②旧河澄家整備事業	5,585	⑧住工共生地域整備調査事業 ^新	350
③河内寺廃寺跡整備事業	25,100	⑨共同受注グループ再構築支援事業 ^新	91
④特別支援教育推進事業	7,412	⑩モノづくり教育支援事業	200
⑤子ども安全安心推進事業	12,231	⑪消費者対策事業	1,978
⑥学力向上対策学校支援事業 ^新	3,500	⑫多重債務者無料法律相談事業 ^新	80
⑦いじめ防止対策経費	848	5. 安全で住みよいまちづくり	
⑧留守家庭児童育成事業	32,827	①公園新設改良事業	76,396
⑨小学校建設事業	153,746	②交通安全施設整備事業	18,010
⑩中学校建設事業	29,264	③大阪外環状線鉄道建設事業	40,850
⑪高等学校整備事業	3,435	④大阪外環状線連続立体交差事業	37,100
⑫幼稚園整備事業	5,483	⑤近鉄奈良線連続立体交差事業	131,407
⑬大規模スポーツ施設運営補助事業	5,000	⑥街路整備事業	144,862
3. 健康と市民福祉のまちづくり		⑦道路新設改良事業	18,270
①乳幼児医療費助成事業	76,752	⑧道路舗装事業	28,100
②地域子育て支援センター整備事業 ^新	1,220	⑨公共施設耐震調査事業	2,800
③母子衛生業務経費	20,540	⑩民間建築物耐震改修促進経費	1,060
④病児・病後児保育事業	2,594	⑪都市下水路及び河川改修事業	20,050
⑤高齢者等住宅改造助成事業	5,476	⑫消防施設整備事業	76,513
⑥手話通訳員等登録派遣事業	810	⑬防災対策事業	2,785
⑦移動支援事業従事者養成事業 ^新	118	⑭豊かな環境創造基金活用事業 ^新	1,600
⑧ジョブライフサポーター派遣事業 ^新	350	⑮ごみ減量推進事業	12,239

南河内地域

松原市

■面積	
行政区域面積	16.66km ²
市街化区域面積	1,279ha
■人口動態	
人口	127,276人
世帯数	48,480世帯
人口密度	7,640人/km ²
人口伸率	△4.0%
高齢化率	19.1%

藤井寺市

■面積	
行政区域面積	8.89km ²
市街化区域面積	753ha
■人口動態	
人口	65,780人
世帯数	25,189世帯
人口密度	7,399人/km ²
人口伸率	△1.5%
高齢化率	19.2%

羽曳野市

■面積	
行政区域面積	26.44km ²
市街化区域面積	1,337ha
■人口動態	
人口	118,695人
世帯数	43,225世帯
人口密度	4,489人/km ²
人口伸率	△0.5%
高齢化率	19.2%



太子町

■面積	
行政区域面積	14.17km ²
市街化区域面積	238ha
■人口動態	
人口	14,483人
世帯数	4,840世帯
人口密度	1,022人/km ²
人口伸率	2.1%
高齢化率	16.5%

大阪狭山市

■面積	
行政区域面積	11.86km ²
市街化区域面積	741ha
■人口動態	
人口	58,208人
世帯数	21,807世帯
人口密度	4,908人/km ²
人口伸率	2.1%
高齢化率	17.2%

河南町

■面積	
行政区域面積	25.26km ²
市街化区域面積	236ha
■人口動態	
人口	17,545人
世帯数	6,419世帯
人口密度	695人/km ²
人口伸率	1.2%
高齢化率	19.6%

富田林市

■面積	
行政区域面積	39.66km ²
市街化区域面積	1,579ha
■人口動態	
人口	123,837人
世帯数	44,834世帯
人口密度	3,123人/km ²
人口伸率	△2.2%
高齢化率	17.6%

河内長野市

■面積	
行政区域面積	109.61km ²
市街化区域面積	1,527ha
■人口動態	
人口	117,239人
世帯数	40,900世帯
人口密度	1,070人/km ²
人口伸率	△3.1%
高齢化率	19.3%

千早赤阪村

■面積	
行政区域面積	37.38km ²
市街化区域面積	130ha
■人口動態	
人口	6,538人
世帯数	2,122世帯
人口密度	175人/km ²
人口伸率	△6.2%
高齢化率	24.3%

I. 予算の特色

平成20年度においては、地方分権の推進とともに国庫補助負担金改革及び地方交付税改革等により、行財政を取り巻く環境は大変厳しい状況であることから、引き続き安定した財政基盤の構築と、市民ニーズへの確な対応を図る。

20年度予算については、「教育・子育て」「健康・安心・支えあい」「まちと環境の再生」「地域力の向上」「行財政改革の推進」を基本とした予算編成とした。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 防災安全関係		5. 環境	
①小学校耐震化事業	31,563	①浄化槽市町村整備事業	11,182
②中学校耐震化事業	12,128	②低公害車(ハイブリッドカー)の導入	1,723
③AEDの設置、運動場体育機器安全点検	1,068	③エコアクション21の取得	95
④既存民間建築物耐震化推進事業	476	④住宅用太陽光発電システム設置補助金	243
⑤子どもの安全見守り隊事業	160	⑤ISO認証取得補助	176
2. 学校教育		6. 福祉	
①中学校給食事業	1,701	①障害児(者)歯科診療体制整備事業	388
②きめ細やかな指導推進事業	3,151	②在宅寝たきり老人等歯科訪問事業	90
③生徒指導事業	2,701	7. 保健・医療	
④幼稚園施設改修事業	2,416	①肺炎球菌(70歳以上)予防接種助成	1,575
⑤英語指導助手配置事業	3,144	②中学・高校3年生相当麻疹・風しん予防接種助成	2,470
⑥学校図書館教員補助員配置事業	1,402	③特定健康診査(メタボリックシンドローム)	9,041
⑦トイレ改修事業	3,950	④後期高齢者医療広域連合負担金	65,461
3. 子育て支援		8. 産業振興	
①乳幼児等医療費補助事業	29,057	①農産物直売所新築工事	2,500
②学童クラブ事業	20,791	②商業活性化プロジェクト事業補助金	36
③つどいの広場事業	2,274	9. 市民協働・国際化	
④放課後子ども教室推進事業	520	①地域集会所等整備補助事業	3,980
⑤次世代育成支援行動計画策定業務	300	②多文化共生指針作成委員会設置	34
4. まちづくり		③市民窓口業務案内5ヵ国語版全面改訂	125
①富田林駅前整備事業	85,247		
②街なみ環境整備事業	27,794		
③中層市営住宅整備再整備事業	19,227		
④甲田・桜井線新設事業	4,455		
⑤鉄道駅舎バリアフリー化設備整備	1,755		

I. 予算の特色

河内長野市の財政状況は、国の三位一体改革による交付税の減少や社会保障関係経費の増加などにより、平成16年度から基金の取崩しによる実質的な赤字状態が続いている。平成18年度決算では経常収支比率も府内都市平均を上回った。今後においても団塊の世代の大量退職による税基盤の弱体化が予想される。

このような厳しい財政状況の中で、持続可能な都市経営を行うために、平成19年12月に収支不足の解消と財政構造の弾力化を目標として「第2次財政健全化プログラム」を策定し、平成20年度予算編成においては、当該プログラムの実行の初年度として、給与の見直しなどによる人件費の抑制をはじめとした財政改革の実行を行うとともに、「安全・安心施策」「子育て支援施策」などに特に配慮した施策の再構築を念頭において予算を編成した。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 環境調和都市		⑫小規模事業者資金融資制度の改正 [㊦]	4,866
①滝畑千石谷地区市所有森林の管理	815	⑪地域産業振興計画推進事業 [㊦]	300
2. 共生共感都市		⑫農村総合整備事業	6,815
①地域コミュニティソーシャルワーカー配置事業	3,640	⑬ふるさと農道整備事業	6,147
②地域福祉活動推進事業(地域福祉啓発事業) [㊦]	33	⑭高木・高向地区都市農村交流活性化事業 [㊦]	50
③高齢者地域介護・福祉空間整備等交付金事業	4,000	⑮高野街道を基軸とした観光産業振興にかかる整備事業	1,000
④第2期障害福祉計画の策定 [㊦]	216	4. 安全安心都市	
⑤障害者地域生活支援事業の実施 [㊦]	1,806	①自主防犯活動推進事業	200
⑥南河内圏域障害児(者)歯科診療事業の開始 [㊦]	2,286	②犯罪(侵入盗、乗り物盗、車上ねらい等)に応じた防止策の推進 [㊦]	20
⑦乳幼児医療助成事業の充実	15,940	③消防防災拠点施設の整備	8,000
⑧母子保健健康診査事業(妊婦一般健康診査事業)の充実	1,969	④消防施設・設備整備事業	7,980
⑨予防接種事業(麻疹風しんの予防接種)の実施	4,061	⑤消防通信指令システム(119番の迅速化) [㊦]	1,004
⑩父子手帳の作成・配布 [㊦]	42	⑥耐震性貯水槽整備事業 [㊦]	900
⑪生活保護就労支援充実事業の実施 [㊦]	66	⑦AED「自動体外式除細動器」を全小学校に導入	462
⑫後期高齢者医療制度運営事業の創設(医療制度改革) [㊦]	75,838	⑧木造住宅耐震改修補助事業の実施 [㊦]	860
⑬特定健診・保健指導事業の実施(医療制度改革)【国保特会】 [㊦]	6,602	⑨土石流危険渓流看板設置事業 [㊦]	60
3. 元気創造都市		⑩河合寺竜泉寺線の整備	3,720
①つどいの広場事業(子育て支援)	300	⑪三日市1号線の整備	6,762
②子育て家庭ほっと支援事業	532	⑫市営住宅ストック総合活用計画の策定 [㊦]	200
③次世代育成支援対策行動計画の策定 [㊦]	273	⑬配水施設等改良事業	101,464
④放課後児童会施設の整備	120	⑭公共下水道の整備	105,080
⑤放課後児童会の土曜日開設及び時間延長	16,997	⑮市設置型浄化槽の整備	3,208
⑥放課後子どもプラン事業の拡充	133	5. 自立協働都市	
⑦小学校施設大規模改造事業	8,186	①市民公益活動支援センターの運営	1,071
⑧教育情報化推進事業	2,430	②市民公益活動支援・協働促進事業	344
⑨特別支援教育支援員の設置 [㊦]	428	③アドプト制度の実施	57
⑩スポーツ振興事業	896	④シンボルキャラクター事業 [㊦]	155
⑪図書館システムの更新	1,102	⑤戸籍電算化導入事業 [㊦]	8,220
		⑥文化施設予約システム構築事業	205
		⑦河内長野市・千早赤阪村合併協議会の負担金	1,809

I. 予算の特色

平成20年度の当初予算については、平成21年度から適用される健全化判断比率のもととなることから、現在全庁を挙げて取り組んでいる財政健全化のスピードアップを図り、徹底した経費の縮減と自主財源の確保に努め、持続可能な行財政運営を目指すものである。

特に、子ども、妊婦、高齢者などに対する福祉施策に重点をおき、将来を担う子どもたちに対しては、引き続き教育現場の安全対策に取り組み、地域の子育て支援の拠点を拡充整備する。さらに、都市公園や都市計画道路の整備などの緑ある安全な都市整備対策など市民にとって真に必要な行政サービスに重点をおいて、誰もが安心して暮らせ、笑顔あふれる魅力ある街づくりの実現に向け予算を編成した。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 健康で明るい文化都市の建設		②交通安全対策（歩道設置工事等）	10,172
①市民との協働推進事業 ^新	61	③放置自転車対策（自転車撤去、保管返還）	2,543
②食の安全流通対策事業	1,149	4. 倫理観をもった個性を伸ばす教育の実現と生涯学習の充実	
③松原市情報文化アメニティセンター整備事業 ^新	1,354	①小学校セフティスクールサポート事業	3,070
④国際化事業	2,629	②特別支援教育推進事業 ^新	453
⑤地域国際化支援事業	552	③総合的教育力推進事業	1,162
⑥都市近郊農業振興対策運営事業	444	④特色・個性化教育推進事業	1,235
⑦中小企業者経営改善事業	760	⑤小・中学校情報教育運営事業	7,181
⑧市民雇用創出事業	2,786	⑥特別支援教育運営事業	2,338
⑨中小企業融資事業	2,262	⑦教育用ネットワーク事業	1,247
⑩商店街、小売市場等魅力向上事業	1,419	⑧小中学校大規模改造等事業	41,699
⑪情報化推進事業	6,059	⑨各小中学校消防設備改修工事	2,275
⑫公園整備事業	16,561	⑩文化施設運営管理事業	16,738
⑬道路新設事業	152,861	5. 福祉、医療、介護の三本柱の充実	
⑭市営住宅整備事業	8,105	①障害者福祉事業（介護等福祉事業）	99,033
2. 自然環境の保全と災害に強い街づくり		②障害者福祉事業（自立生活支援事業）	13,313
①防犯灯補助事業	2,671	③障害者福祉事業（社会参加促進事業）	18,276
②商店街、小売市場等魅力向上事業	619	④児童福祉（母子福祉、保育）	142,442
③資源ごみ収集・中間処理業務	5,826	⑤高齢者福祉（生活支援・生きがい対策）	17,894
④環境保全事業	822	⑥子育て支援事業	3,507
⑤ごみ減量・啓発事業	2,005	⑦子ども未来基金事業	1,000
⑥事業系一般廃棄物有料化啓発事業 ^新	370	⑧児童自己防衛力育成事業	275
⑦下水道特別会計繰出金	239,000	⑨乳幼児施策	21,829
⑧耐震性防火水槽整備事業 ^新	1,055	⑩保健対策（予防接種、健康増進、母子保健）	32,929
⑨消火栓施設整備事業	900	⑪高齢者介護予防事業	6,935
3. 高齢者と障害者に優しい都市基盤の整備		⑫高齢者介護支援事業	3,670
①公共施設循環バス運行事業	1,947		

I. 予算の特色

本市において平成20年度は、市制施行50周年という節目の年であり、平成20年度の予算は、「第5次総合基本計画」の将来像である「人・時をつなぐ 安心・健康・躍動都市 はびきの」の実現をめざし、「賑わい」、「健康」、「安心」、「環境」をキーワードとした事業に重点をおいた。ソフト面では、市民生活に根ざした行政サービスの向上に取組むとともに、ハード面では、公共施設の耐震化や老朽化した施設のリフレッシュなど、既存施設の安全かつ効率的な活用に配慮している。

平成20年度の予算は、累積赤字を解消した実質的初年度にあたる財政事情を踏まえ、安定した財政運営を図るべく、総額の伸びを抑制した緊縮型とする一方で、必要な事業を確実に進める予算編成としている。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 『安全・安心、快適で住みやすいまち』づくり		3. 『次代を担う子どもを育むまち』づくり	
①災害用簡易トイレの配備 ^新	30	①妊婦一般健康診査公費負担の拡充	1,780
②自動対外式除細動器（AED）の市立全中学校への設置 ^新	171	②マタニティマークの普及啓発 ^新	30
③ごみ減量、リサイクル事業	982	③乳幼児医療費助成制度の拡充	19,449
④市営住宅ストック総合改善事業	6,765	④緊急110番非常用通報システムの設置	297
⑤峰塚公園整備事業	4,147	⑤学校耐震診断・耐震補強工事	4,180
⑥公共下水道事業	165,734	⑥古市小学校屋内運動場改築事業	27,257
⑦第24回大阪府都市緑化フェアの開催	200	⑦青少年野外活動施設整備基金 ^新	4,000
⑧消防ポンプ車購入	1,800	⑧（仮称）「自然・歴史・人のふれあい交流の森」構想の策定 ^新	
⑨「古市駅周辺のまちづくり基本構想策定」 「バリアフリー基本構想策定」		* 予算額は「古市駅周辺」「バリアフリー」各基本構想の策定分も含めた額	620
* 予算額は仮称「自然・歴史・人のふれあい交流の森」構想の策定分も含めた額	620	⑨第28回全日本少年少女合唱祭全国大会 ^新	100
2. 『健康で生き生きと暮らせるやさしいまち』づくり		4. 『魅力ある地域社会を拓くまち』づくり	
①特定健診・特定保健指導の実施 ^新	9,890	①スポーツ施設予約システムの再構築	—
②麻しん・風しん予防接種の拡充	4,092	②「百舌鳥・古市古墳群」世界遺産登録推進事業 ^新	101
③第2期障害福祉計画の策定 ^新	306	③ふれあいキャンプ事業	85
④南河内圏域障害児（者）歯科診療所事業	400	5. 『信頼に基づく市民とともにつくるまち』づくり	
⑤第4期高齢者いきいき計画策定 ^新	500	①（仮称）はびきの市民公益活動センター開設準備委員会の設置 ^新	40
⑥障害者自立支援事業	87,579	②市制施行50周年記念事業 ^新	1,408
⑦老人福祉援護事業	12,571	③事務事業評価制度の確立	—
⑧身体障害者・知的障害者医療費助成事業	15,742	③基幹系システムの再構築	5,270
⑨老人医療費助成事業	31,171	④情報セキュリティ外部監査 ^新	—
⑩介護保険事業	118,227		

I. 予算の特色

非常事態ともいえる本市の財政状況を踏まえ、財政の健全化に全力で取り組むとともに、市の活性化、少子・高齢化対策、教育環境の充実、文化・スポーツの振興、防犯・防災、都市基盤の整備などに取り組み、笑顔と活気に満ちた「小さくてもキラリと光るまち藤井寺」の実現を目指す。特に、駅周辺の活性化や市内の豊富な歴史遺産を一体的に結ぶ歴史回廊づくり、市民と行政が連携した観光振興事業、子育て支援の充実、誰もが安心して移動できる交通環境の整備などに重点的に取り組む。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 人々が行き交う活気に満ちたまち		⑤小学生用社会科資料集の作成	611
①土師ノ里道明寺地区都市再生事業 ^新	2,190	⑥ALT活用事業	1,986
②土師ノ里駅周辺整備事業	2,062	⑦子ども安全見守り活動推進事業	106
③観光振興事業 ^新	168	⑧小中学校特別支援員の配置 ^新	270
④歴史回廊整備事業 ^新	30	⑨学校支援社会人等指導者活用事業	227
⑤都市計画マスタープランの見直し ^新	420	⑩放課後児童会事業	5,500
⑥しゅらまつりの開催	400	⑪放課後子ども教室推進事業	90
⑦緑化フェスティバルの開催	100	4. 笑顔があふれる文化・スポーツの振興	
⑧中小企業振興事業	776	①古市古墳群世界文化遺産登録事業 ^新	160
⑨就労支援事業	27	②スポーツ施設AED設置 ^新	44
⑩都市間交流事業	15	③文化財保護推進事業	81
⑪コミュニティ施設助成	1,391	④青少年海外派遣事業	258
2. 誰もが安心して暮らせる福祉施策の推進		⑤文化振興事業	399
①乳幼児医療費助成制度の充実 ^新	900	⑥小中学校体育施設開放事業	45
②妊婦健診の充実 ^新	690	⑦市民総合体育大会の開催	90
③こんには赤ちゃん（訪問）事業 ^新	78	⑧スポーツ交流事業	28
④つどいの広場事業 ^新	436	⑨市民ニュースポーツフェスタ事業	30
⑤南河内障害児者歯科診療整備事業 ^新	246	⑩スポーツグラウンド整備事業	400
⑥障害者福祉計画（第2期）の策定 ^新	244	5. 市民生活の安全確保と都市基盤の整備	
⑦公立保育所エアコン設置事業	400	①市道林梅が園線道路整備事業	16,035
⑧病児、病後保育事業	1,250	②市道舗装道補修工事 ^新	800
⑨次世代育成支援行動計画策定調査 ^新	217	③福祉のまちづくり条例に伴う歩道改修	100
⑩第4期いきいき長寿プランの策定 ^新	242	④違法駐車等防止条例に伴う交通啓発事業	1,094
⑪後期高齢者医療制度への対応 ^新	37,931	⑤水路改修事業	7,165
3. 子どもたちを大切にしたい教育環境の充実		⑥浸水対策事業 ^新	572
①小中学校設備改修事業 ^新	2,161	⑦幼稚園分園内備蓄倉庫の設置 ^新	20
②学校園エアコン・扇風機設置事業 ^新	1,714	⑧防犯カメラ設置モデル地区補助金	150
③全小学校AED設置 ^新	290	⑨総合合同震災演習事業	120
④英語活動等国際理解活動プラン事業 ^新	57	⑩自主防災活動の推進	18

I. 予算の特色

平成20年度予算は、前年度に引き続き一般財源ベースの枠配分方式の予算編成とした。

重点施策については、これまで取り組んできた「市民が起点のまちづくり」の構築を、さらに前進させ、本市をもっと住みやすい、魅力あるまちにするため、4年間の目標年次を明らかにした「マニフェスト～市民との約束～」の実現を最優先に、マニフェストの項目に沿い各種施策・事業を着実に実行する予算とした。

その中でも、「市民一人ひとりが元気なまちづくり」「豊かな個性をはぐくむ子育てにやさしいまちづくり」などを重点に、市民協働の視点を取り入れ、事業推進体制を見直すとともに、ボランティア活動の支援体制の強化を図るなど、市民協働、安心安全のまちづくり、子育て支援に力点を置いた予算編成とした。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 市民一人ひとりが元気なまちづくり		②桜の里づくり事業	150
①自治基本条例策定事業	15	③環境マネジメントシステム事業	141
②地域協議会事業	50	④道路舗装補修事業	1,500
③男女共同参画推進事業	282	⑤西除川左岸線道路改良事業	3,000
④第四次総合計画策定事業	300	⑥公共下水道（汚水・雨水）整備事業	30,123
⑤文化会館活性化対策事業	200	⑦農業農村基盤（ため池）整備事業	450
⑥英訳リーフレット作成事業	10	5. 健やかで思いやりのあるまちづくり	
2. 豊かな個性をはぐくむ子育てにやさしいまちづくり		①ひと休みベンチ設置事業	200
①プレイセンター推進事業	100	②市道バリアフリー化事業	700
②病後児保育事業	470	③不妊治療助成事業	150
③学習支援チューター事業	140	④シルバー人材センター整備事業	1,480
④東小学校多目的教室空調設備設置事業	900	⑤特定健診、特定保健指導事業	3,928
⑤中学校部活動支援人材活用事業	69	⑥国民健康保険被保険者証カード化事業	290
⑥第七放課後児童会委託事業	520	6. 親しみやすいさわやかな市役所づくり	
⑦次世代育成支援対策行動計画策定事業	250	①職員研修充実事業	200
3. 安全で安心して暮らせるまちづくり		②市史編さん事業	600
①公共施設（小学校）耐震化事業	29,950		
②地域防犯ステーション整備事業	310		
③安全安心スクール実施事業	70		
④水道施設の耐震強化事業	37,722		
⑤金剛駅耐震補強事業	840		
⑥高度救急活動機器整備事業	921		
⑦消防車輛整備事業	7,200		
4. 都市と自然が共生するうるおいのあるまちづくり			
①あまの街道周辺のみどりの保全事業	400		

I. 予算の特色

4月に町長の任期が満了することから、行財政改革を最優先課題とし、住民サービスが停滞しないよう、行政運営に必要な経常経費を最小限にとどめるとともに、投資的経費についても最小限必要なものを計上した骨格予算である。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1. 愛着と誇りを持てるまち	1,420
①学校教育事業	1,100
②学校防犯対策事業	320
2. いつまでも快適で生き生きできるまち	2,048
①障がい者施策推進事業	286
②児童福祉事業	116
③健康管理事業	1,646
3. みんなの力で安全と安心を守るまち	2,713
①町道維持管理事業	2,110
②災害対策事業 ^新	603
4. 地域の魅力アップ	123
①観光推進事業	123
行財政改革の推進	—
南阪奈道路太子IC周辺整備の推進	—
住民参加の協働のまちづくり	—

I. 予算の特色

厳しい財政状況の中、「改革と創造」を政策の柱に行財政改革を推進しつつ、より一層の歳入確保・歳出削減に努める一方、防犯、防災、教育、子育て、健康対策など、住民生活に直結する施策に重点配分し、安全・安心・安住のまちづくりの実現を目指した予算となっている。

平成20年度は主な事業として、防犯対策では、青色回転灯防犯パトロール支援事業や地域防犯ボランティア団体育成事業を行い、地域と一体となって防犯安全対策を充実する。防災対策では、木造住宅の耐震改修費用の一部補助を新たに行い、民間住宅の耐震化率の向上に努める。子育て健康対策として、新生児の訪問事業や妊婦健康診査の公費負担の拡充など子育て支援施策の充実に取り組む。教育関係では安全環境の向上のため、幼稚園、保育所、小中学校にAEDを設置する。また、耐震診断の結果により小中学校校舎の耐震補強工事を行うほか、引き続き警備員を配置する。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 健康で安らぎとふれあいのあるまちづくり		⑤子ども読書活動推進事業	257
①集会所公共下水道接続事業 ^新	191	⑥小学校校舎大規模改造事業	1,204
②地域防犯ボランティア団体育成事業 ^新	15	⑦中学校校舎大規模改造事業	7,459
③青色回転灯防犯パトロール支援事業	199	⑧放課後児童健全育成事業	912
④介護予防事業	840	⑨公民館図書室図書充実事業	446
⑤障害者自立支援給付等事業	6,921	⑩放課後子ども教室推進事業	180
⑥地域生活支援事業	1,033	3. 快適で住みよいまちづくり	
⑦乳幼児医療助成事業	2,267	①町道整備事業	1,200
⑧子育てセンター事業	580	②集落内道路改修事業等	1,900
⑨児童手当給付事業	11,038	③橋梁長寿命化事業	240
⑩小児急病診療事業負担	1,169	④新都市計画マスタープラン策定事業 ^新	200
⑪南河内圏域障害児(者)歯科診療事業負担 ^新	76	⑤公共下水道整備事業	21,344
⑫保健事業	2,902	⑥簡易水道施設改良事業	1,500
⑬母子保健事業	729	⑦上水道第3次拡張事業	6,550
⑭地球温暖化防止啓発事業	25	⑧上水道施設改良事業	4,350
⑮住宅・建築物耐震化促進事業	347	4. 魅力と活力のあるまちづくり	
⑯土砂災害情報相互通報システム整備事業	300	①農作物被害防止事業	226
⑰防災マップ作成事業 ^新	120	②中山間地域総合整備事業	3,809
⑱自主防災組織支援事業 ^新	96	③越ヶ井水路改修事業	1,784
2. 文化・芸術の香り高い豊かな人間性を育むまちづくり		④口梨水路改修事業	100
①中学校における英語青年招致事業	431	⑤小規模企業事業資金融資信用保証料補給	100
②小学校における英語・国際理解教育推進事業	1,052	5. みどり豊かなうるおいのあるまちづくり	
③警備員配置事業	1,302	①ふれあい緑化推進事業	31
④白木小学校公共下水道接続事業	834	②第56回大阪府植樹祭開催事業	150
		③弘川寺歴史と文化の森活用推進事業	60
		④公園維持事業	370

I. 予算の特色

地方交付税の増加などにより、わずかながら歳入が伸びたものの、後期高齢者医療制度の本格実施による新たな行政需要の発生などにより大幅な財源不足となったことから、基金を1億6,300万円取り崩し予算編成を行った。主な事業は、小学校の統合による通学バスの運行に1,247万円、自動体外式除細動器（AED）設置に204万円、赤阪小学校の大規模改造及び改築実施設計に1,200万円、中学校の耐震診断・耐震補強計画に2,000万円など。特別会計は総額19億1,022万円（25.9%減）で、国民健康保険特別会計の施設勘定が診療所に指定管理者制度を導入したことにより83.8%の減、金剛山観光事業特別会計が索取替工事完了により23.9%の減となっている。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 豊かな自然と歴史文化を守り、伝え、活用します		④中学校耐震診断事業	2,000
①金剛山管理事業	1,104	6. みんながまちづくりに参加できる開かれたしくみをつくります	
②文化財調査等事業	51	①広報紙発行事業	364
2. 便利で、こちよく暮らせる都市基盤を形成します		②合併協議会負担金	692
①村道維持補修	842		
②上水道事業	3,888		
③下水道事業	3,002		
3. 地域資源を活かして産業を振興します			
①中山間地域総合整備事業	2,097		
②森林整備事業	50		
③地域就労支援事業	37		
④観光振興事業	387		
⑤金剛山ロープウェイ管理事業	1,111		
4. やすらぎ、安心して暮らせる地域社会を形成します			
①障害者福祉計画策定事業	269		
②後期高齢者医療制度システム事業	105		
③自動体外式除細動器（AED）設置事業	204		
5. 誰もが地域を誇れるところを育みます			
①放課後子ども対策事業	189		
②小学校通学バス運行事業	1,247		
③小学校大規模改造・改築事業	1,200		

泉北地域

高石市

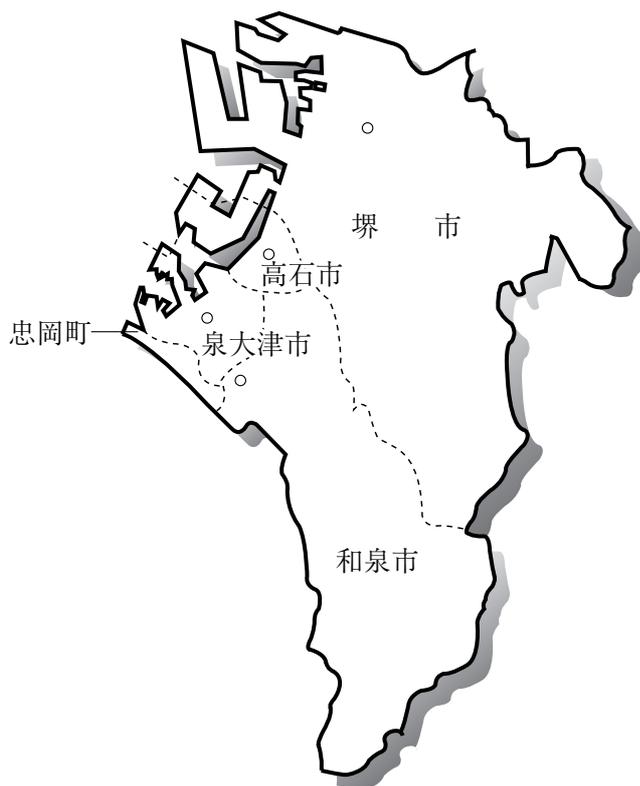
■面積	
行政区域面積	11.35km ²
市街化区域面積	1,116ha
■人口動態	
人口	61,127人
世帯数	22,829世帯
人口密度	5,386人/km ²
人口伸率	△1.8%
高齢化率	18.8%

堺市

■面積	
行政区域面積	149.99km ²
市街化区域面積	109,28ha
■人口動態	
人口	830,966人
世帯数	322,936世帯
人口密度	5,540人/km ²
人口伸率	0.2%
高齢化率	18.6%

泉大津市

■面積	
行政区域面積	12.80km ²
市街化区域面積	1,367ha
■人口動態	
人口	77,673人
世帯数	29,500世帯
人口密度	6,214人/km ²
人口伸率	3.4%
高齢化率	16.4%



忠岡町

■面積	
行政区域面積	4.03km ²
市街化区域面積	403ha
■人口動態	
人口	17,586人
世帯数	6,280世帯
人口密度	4,364人/km ²
人口伸率	0.4%
高齢化率	19.8%

和泉市

■面積	
行政区域面積	84.98km ²
市街化区域面積	2,593ha
■人口動態	
人口	177,856人
世帯数	62,433世帯
人口密度	2,093人/km ²
人口伸率	2.8%
高齢化率	15.7%

I. 予算の特色

歳入面では市税収入が増加したものの、臨時財政対策債を含めた地方交付税は減少する中で、歳出面では引き続き扶助費などの社会保障関係経費が増加するなど、厳しい財政状況となっている。そのため、政令指定都市移行による増加財源に加え、職員数削減をはじめ経常経費の削減、施策事業の見直しなどの行財政改革に取り組み、必要な財源を確保しながら、「自由都市・堺 ルネサンス計画」を市民参加と協働により着実に推進し、「市民の健康やいきがづくり」、「市民生活の安心・安全の確保」、「まちの魅力づくり」、「経済の活性化」へと確実に結びつけることに主眼を置いて予算編成をした。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 人権尊重社会、男女共同参画社会の実現		②周産期緊急医療体制整備事業 ^新	517
①自由都市・堺 平和貢献賞	1,448	③発達障害者支援事業 ^新	352
②女性の再就職支援と就業環境の整備	3,059	④学力向上推進事業	10,441
③「日本女性会議2009さかい」開催事業 ^新	3,090	⑤いじめ問題への対応	10,124
		⑥放課後児童対策事業	142,954
2. 歴史と文化を活かした都市魅力の創出		6. 支えあいと協働による安全・安心な地域社会づくり	
①歴史文化都市推進事業	2,393	①地域包括支援センター事業	60,403
②ブランド創造発信事業	26,000	②後期高齢者医療制度 ^新	605,447
③堺臨海部サッカー・ナショナルトレーニングセンター整備事業	193,654	③(仮称)健康福祉プラザ整備事業	77,604
④文化観光拠点創出事業	1,506	④重度障害者歯科診療所運営事業 ^新	11,799
⑤町家活用推進事業	45,930	⑤地域拠点での健康づくり事業 ^新	3,926
⑥美原総合スポーツ施設整備事業	107,123	⑥救命救急センター整備事業	10,600
⑦堺第7-3区における野球場整備事業 ^新	26,940	⑦地域会館・幼稚園・保育所等へのAEDの設置	2,933
3. 都心の活力創出と都市拠点の形成		⑧自主防災組織活動の充実支援	641
①水環境改善整備事業	30,550	⑨地震災害想定総合調査事業 ^新	4,452
②美原複合シビック施設整備事業	142,903	7. 住みよい生活環境の創出と環境との共生	
③堺東行政ゾーン整備推進事業	2,400	①鉄道駅舎バリアフリー化整備事業	46,180
④堺浜整備推進事業	210,033	②南海本線(堺市)連続立体交差事業および関連事業	284,961
⑤東西鉄軌道事業	65,406	③地球温暖化・ヒートアイランド対策の推進	6,343
4. 地域の発展を支える経済基盤の形成		8. 市民とともに取り組む市政・まちづくり	
①産業集積拠点形成事業	82,619	①区民まちづくり会議事業	950
②総合的中小企業支援事業	25,889	②区民プラザ運営事業	1,730
③中小企業の競争力強化事業 ^新	4,122		
5. 子どもたちを健やかに育む環境づくり			
①保育所待機児解消事業	90,012		

I. 予算の特色

平成19年度は、国において「地方公共団体の財政健全化に関する法律」が公布され、新たな財政指標による健全化基準が示された。

このような中、本市においては、新たな健全化計画である「いずみおおつ再生・未来プラン」において目標とする「実質収支黒字の堅持」を第一義としながら、今後予測される厳しい財政状況を克服する行財政体質を確立するべく、さらなる事業の精査・見直しを行い、限られた財源をより効果的に配分することにより、市民の安心・安全の確保と市民サービスの向上に配慮した平成20年度当初予算の編成を行ったものである。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 安心・安全のまちづくり		⑤学校給食調理業務委託	15,779
①既存民間建築物耐震診断・改修補助金 ^新	143	⑥フカキ夢ひとづくり事業	448
②穴師小学校耐震改修工事 ^新	8,000	5. 市民参加のまちづくり	
③NBC災害対応資機材整備 ^新	670	①男女共同参画交流サロン整備 ^新	1,100
④小学校校舎耐震診断委託料	2,000	②戎町公園整備	200
⑤消防通信システム本格稼働、携帯・IP電話発信位置情報システム ^新	2,692	6. 産業振興のまちづくり	
2. 環境のまちづくり		①産業振興事業補助金	583
①みどり維持管理事業 ^新	3,112	②泉大津未来ビジョン補助金	500
②住宅用太陽光発電システム設置事業補助金	360	③販路開拓、新商品・新技術、人材育成等補助金	790
③学校緑化推進事業	200	7. 都市基盤の充実するまちづくり	
3. 福祉・健康のまちづくり		①火葬場整備に係る環境影響評価委託料 ^新	1,000
①周産期医療施設整備 ^新	—	②河原町市営住宅建替基本設計等委託料 ^新	2,500
②地域子育て支援センター事業 ^新	384	③南海本線連続立体交差事業	84,969
③健康教育委託料（メタボ予防） ^新	200	8. 市民サービスの向上	
④妊婦一般健康診査の充実	1,178	①庁舎の日曜開庁（諸証明発行業務等） ^新	—
⑤各種がん検診委託料	2,964	②情報保護システム保守委託料 ^新	12
4. 教育のまちづくり			
①放課後子ども教室（まちなか塾）推進事業 ^新	232		
②条南小学校トイレ改修工事 ^新	3,500		
③自学自習支援事業 ^新	495		
④中学生国際交流事業	133		

I. 予算の特色

平成20年度においては、公民協働元年として「地域が主体の安全で安心な地域特色を生かした個性あるまちづくり」の実現に向け、多様な施策を推進することとした。予算編成においては、平成19年度から重点的に取り組んできた小・中学校校舎の年次的な耐震改修に加え、「安心して子どもを産み、育てる」ことのできる施策に重点的に配分することとし、「出産・子育て安心サポート事業」として、乳幼児通院医療費助成対象年齢の就学前までの引上げ、妊婦無料健診回数の拡大、不妊治療への助成制度の創設するとともに、市南部地域において、地域住民のコミュニティ活動や生涯学習活動の拠点となり、泉州初となる道の駅を併設する南部リージョンセンターに係る予算などを新規に配分した。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. みんなの力を生かし地域が活性化するまち		⑫国民健康保険事業特別会計繰出金	138,182
①南部リージョンセンター管理運営事業 ^新	5,219	4. 市民が安全で安心して暮らせるまち	
②熱中市民サポート事業	500	①消防本部庁舎耐震補強設計委託 ^新	300
③日曜日開庁経費 ^新	254	②消防ポンプ自動車購入 ^新	3,200
2. 多世代が豊かな心を育む学びのまち		③自治体消防発足60周年記念事業	300
①妊婦健康診査の拡充 ^新	1,302	④小型動力ポンプ付積載車購入	5,200
②特定不妊治療助成事業 ^新	500	⑤市営住宅安心確保事業	198
③乳幼児医療費助成の拡充 ^新	5,143	⑥市営住宅整備事業（黒鳥第二住宅建替）	17,012
④ファミリーサポートセンター事業	421	⑦民間建築物耐震改修補助金	875
⑤いずみエンゼルハウス事業助成金	1,780	⑧民間建築物耐震診断補助金	235
⑥青葉はつが野小学校増築事業 ^新	9,050	⑨都市公園バリアフリー化事業 ^新	4,600
⑦槇尾中学校耐震対策事業 ^新	3,079	⑩黒鳥山公園整備事業	111,640
⑧富秋中学校エレベーター設置事業 ^新	2,850	⑪和泉中央駅前自転車等駐車場基本設計等委託 ^新	1,600
⑨特別支援教育支援員配置 ^新	398	⑫上伯太線整備事業	91,867
⑩小中学校耐震補強整備事業	24,459	5. だれもが環境にやさしい生活を営んでいるまち	
⑪和泉黄金塚古墳史跡指定記念事業 ^新	500	①リサイクルプラザ増設工事 ^新	4,000
⑫放課後子ども教室推進事業 ^新	374	②自然環境保全活用調査事業 ^新	87
3. 生涯を通じて健康でいきいきと生活できるまち		③公共下水道事業特別会計繰出金	82,542
①後期高齢者医療事業特別会計繰出金 ^新	29,360	6. 個性を生かした産業と働く人々の活気のあるまち	
②後期高齢者医療制度療養給付費負担金 ^新	87,396	①市街地再開発事業特別会計繰出金	81,671
③市民健康診査事業	7,064	②和泉ブランド創出事業 ^新	150
④老人保健事業特別会計繰出金	14,198	③企業誘致促進奨励金	33,606
⑤和泉診療所事業特別会計繰出金	8,751	④土地賃貸促進補助金	4,972
⑥市立病院事業補助金	72,000	⑤泉州東部区域農用地総合整備事業償還金 ^新	54,504
⑦生活機能評価事業 ^新	4,883	⑥農業体験交流施設管理運営事業 ^新	686
⑧地域包括支援センター事業	7,400	⑦農業体験交流施設等整備事業	6,712
⑨介護保険事業特別会計繰出金	122,988	⑧障害者就業・生活支援事業 ^新	405
⑩特定健康診査・保健指導事業 ^新	7,492	7. すべての人が個人として輝き人権が尊重されるまち	
⑪中国残留邦人等相談支援事業 ^新	1,089	①人権文化センター改修事業	10,200

I. 予算の特色

健全化法を視野に入れた、行財政改革に取り組むことを平成20年度予算編成方針とした。

歳出：削減等方針

「人件費の抑制」…指定管理者制度の導入や再任用等の活用、また、事務の民間委託による削減を図る。

「管理的経費」…事務事業の必要性、効果等を再検討し、既定経費の思い切った削減を図る。

歳入：財源確保

「受益者負担」…受益者負担の適正化を図る。(使用料、手数料、減免のあり方、新たな受益者負担の導入)

「所有土地の処分、有効利用」…市所有の普通財産の土地等で、売却可能なものは計画的に処分し、有効活用が図れるものは貸付を行うなど財源の確保に努める。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 「小さな輝き」と「和み」をつくりだすまちづくり		⑤環境対策	4,845
		⑥河川改良事業	9,461
①コミュニティ活動の推進	5,549	5. 小さな輝きが活躍できるまちづくり	
②人権・女性施策推進事業	934	①商工業振興	8,133
③緑化推進事業	2,845	②勤労者対策	660
④自治振興	419	③消費者対策	957
⑤高砂公園運動広場改修事業 ^新	16,380	④農・漁業振興	236
2. 小さな輝きが磨きあうまちづくり		⑤港湾関係	417
①市民文化会館事業	12,889	6. 小さな輝きが広がるまちづくり	
②奨学金の貸付事業	1,953	①市政広報・市民相談	1,062
③学校環境の整備事業	28,352		
④保健体育事業	863		
3. 小さな輝きがともに支えあうまちづくり			
①総合ライフケアセンター指定管理者委託料	3,600		
②医療助成事業	34,836		
③高齢者福祉事業	11,334		
④障害者福祉事業	61,509		
⑤児童福祉事業	78,059		
⑥保健事業	19,754		
4. 小さな輝きの舞台としてのまちづくり			
①南海本線等連続立体交差事業	89,076		
②市街地再開発事業	1,153		
③自転車対策	1,122		
④災害対策	4,949		

I. 予算の特色

平成20年度の一般会計は、前年度当初比20.5%減の57億7,890万円で、前年度における町債の借り換え分を除けば4.3%減となり、特別会計・企業会計を加えた総額は前年度当初比23.8%減の109億7,165万6千円となった。平成18年に度策定した「第二次財政健全化計画」を進め、施策・事業の見直しを行い、緊縮型の予算となった。

現在の厳しい財政状況の中、小・中学校の耐震診断、次世代育成支援行動計画策定にかかるニーズ調査、文化会館の空調機器整備など、住民生活に密着した施策を推進すべく予算編成を行った。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. まちづくりの主役となる人づくりに努める		④広報紙発行	530
①小・中学校耐震診断委託	469	⑤自治会運営	235
②留守家庭児童学級運営	1,028		
③人権施策の推進	—		
④文化会館空調機器整備	384		
⑤ALT招致事業	450		
2. 一人ひとりの自立した生活を支える			
①生活習慣病予防事業	33		
②乳幼児医療費助成事業	2,324		
③子育て支援センター事業	260		
④障害者社会参加等促進事業	120		
⑤消費者相談事業	536		
3. 一人ひとりが安心できる環境づくりに努める			
①公共下水道事業	7,908		
②防犯灯維持管理	294		
③公園等維持管理	2,835		
④生活環境・美化運動推進事業	166		
⑤交通安全教育推進事業	80		
4. 一人ひとりの暮らしの基盤を整備する			
①道路管理事業	1,627		
②福祉バス運行事業	535		
③商工業の振興	1,024		
④町営住宅維持管理	553		
⑤貸菜園事業	85		
5. まちづくりを一人ひとりとともに進めていく			
①地域社会活性化支援	650		
②財政健全化推進	—		
③安心相談アドバイザー配置	246		

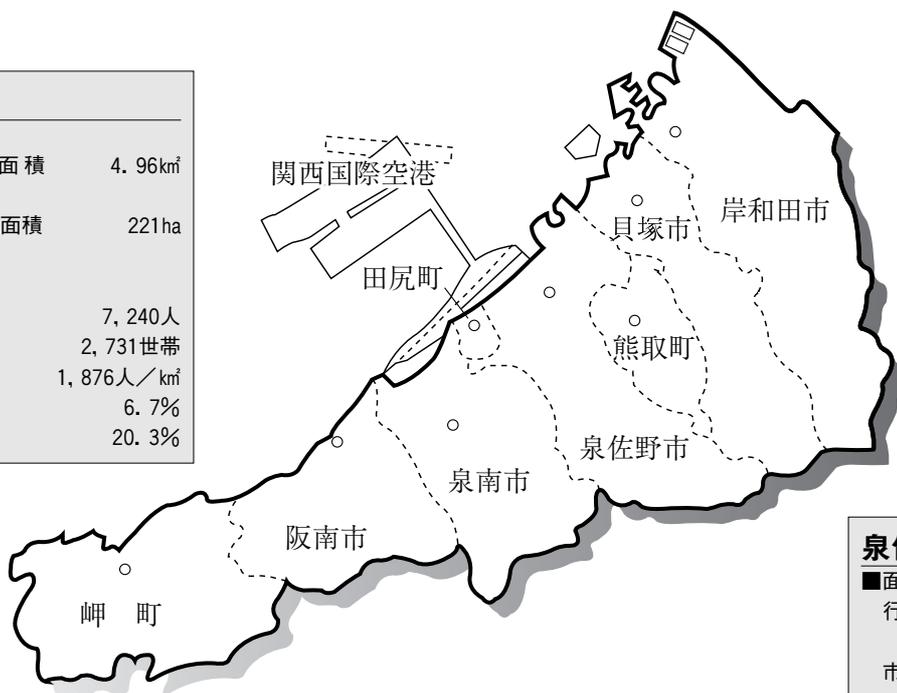
泉南地域

熊取町	
■面積	
行政区域面積	17.23km ²
市街化区域面積	924ha
■人口動態	
人口	44,505人
世帯数	15,070世帯
人口密度	2,589人/km ²
人口伸率	3.7%
高齢化率	15.6%

貝塚市	
■面積	
行政区域面積	43.99km ²
市街化区域面積	1,663ha
■人口動態	
人口	90,314人
世帯数	31,592世帯
人口密度	2,054人/km ²
人口伸率	2.0%
高齢化率	18.3%

岸和田市	
■面積	
行政区域面積	72.24km ²
市街化区域面積	2,867ha
■人口動態	
人口	201,000人
世帯数	72,856世帯
人口密度	2,782人/km ²
人口伸率	0.4%
高齢化率	18.8%

田尻町	
■面積	
行政区域面積	4.96km ²
市街化区域面積	221ha
■人口動態	
人口	7,240人
世帯数	2,731世帯
人口密度	1,876人/km ²
人口伸率	6.7%
高齢化率	20.3%



泉佐野市	
■面積	
行政区域面積	55.03km ²
市街化区域面積	2,062ha
■人口動態	
人口	98,889人
世帯数	36,065世帯
人口密度	1,819人/km ²
人口伸率	2.9%
高齢化率	18.6%

岬町	
■面積	
行政区域面積	49.06km ²
市街化区域面積	704ha
■人口動態	
人口	18,504人
世帯数	6,743世帯
人口密度	377人/km ²
人口伸率	△6.5%
高齢化率	26.0%

阪南市	
■面積	
行政区域面積	36.10km ²
市街化区域面積	1,188ha
■人口動態	
人口	57,616人
世帯数	19,844世帯
人口密度	1,596人/km ²
人口伸率	△1.0%
高齢化率	17.4%

泉南市	
■面積	
行政区域面積	48.48km ²
市街化区域面積	1,302ha
■人口動態	
人口	64,683人
世帯数	21,751世帯
人口密度	1,366人/km ²
人口伸率	0.8%
高齢化率	18.6%

I. 予算の特色

「行財政の再生」、「地域の再生」、「都市の再生」、「産業の再生」、「自然の再生」の5つの再生の実現により、岸和田を再生するという理念のもと、平成20年度予算を編成した。その特徴、重点施策は下記のとおりである。

逼迫した財政状況を克服し、持続可能な財政構造への転換を図るため、平成19年3月に策定した「きしわだ行財政再生プラン」(H19からH23を実施期間とする)に基づき、人件費の削減を中心とする歳出削減策を引き続き実行するとともに、新たに受益と負担の公平性の観点から、保育料、幼稚園保育料、公園・スポーツ施設の使用料等の見直しに取り組んだ。

一方で、限られた財源を有効に活用し、行政サービスの向上を図るとともに、将来のまちづくりの礎を築くため、消防本部庁舎の新設移転、学校教育施設の耐震化など「安全・安心なまちづくり」に関する施策、中小企業の基盤強化、企業誘致を中心とする産業振興施策、観光施設の整備等による観光振興施策、子育て支援施策に重点的に予算を配分した。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 新しいまちづくりの推進		②地域農政推進対策事業	186
①自治基本条例趣旨普及事業	50	③不法投棄防止事業	326
②公民協働システム推進事業	48	5. 安全で快適な都市的魅力のあるまち	
③次期総合計画策定事業 ^新	300	①消防本部庁舎等施設整備事業	45,695
④行財政再生プランの推進	—	②既存建築物耐震診断改修事業	398
⑤地域経営システム構築事業	—	③小・中学校耐震補強事業	9,550
⑥広告収入等歳入確保事業	—	④都市計画マスタープラン推進事業	300
2. 人間を尊重する教育・文化のまち		⑤J R 阪和線東岸和田駅付近高架化事業	41,284
①岸和田サテライト支援事業	231	⑥東岸和田駅東地区防災街区整備事業	84,194
②放課後子ども教室推進事業	300	6. 活力ある産業振興のまち	
③公立幼稚園アフタースクール事業〔預かり保育〕	922	①産業振興新戦略プラン推進事業 ^新	2,250
3. とともに築く健康と福祉のまち		②観光振興計画推進事業	1,300
①小児初期救急広域センター運営事業	14,513	③岸和田ブランド創出事業	100
②コミュニティソーシャルワーカー事業	6,380		
③中学校昼食サポート事業	352		
④地域子育て支援センター運営事業	870		
⑤ブックスタート事業	126		
⑥乳幼児医療助成事業	22,243		
4. 地球と人にやさしい環境のまち			
①バイオマス等未活用エネルギー調査事業 ^新	890		

I. 予算の特色

予算編成にあたりましては、「貝塚市行財政改革実施計画」を強力に推進するとともに、自主・自立の自治体運営で「市民との協働による地方自治・貝塚市」を実現することとし、さらに安心・安全対策の充実、学校施設の耐震化等に伴う整備、子どもの安全対策、少子化対策、南海貝塚駅のバリアフリー化事業などに重点配分するとともに、厳しい財政状況の中にあっても、常に財政収支の均衡、後年度負担の縮減による財政体質の健全化に留意し、効率的・効果的な配分に努めることを基本に予算編成を行ったものであります。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円
1. 安全・安心なまちづくり事業	
①消防署（水間出張所）建て替え事業	11,130
②屋内運動場整備（建て替え）事業	461
③防災行政無線設置事業	1,212
④上水道整備事業	15,960
⑤AED設置事業	289
2. 快適で健康に暮らせるまちづくり事業	
①（仮称）泉州広域母子医療センター整備・運営事業	2,913
②南海貝塚駅周辺バリアフリー化事業	967
③子育て支援センター設置事業	7,677
④消費者行政推進事業（多重債務者の問題解決専門相談） ^新	106
3. 個性的で元気なまちづくり事業	
①「バレーボールのまち貝塚」推進事業	2,168
②東山丘陵地特定土地区画整理事業 ^新	3,419

I. 予算の特色

平成20年度予算の編成方針では、基本的には財政健全化計画期間と変わることのない予算編成とした。また再生法制に関わる課題として、宅地造成事業会計などの特別会計及び土地開発公社の財政健全化に取り組む必要があり、引き続き市トータルでの財政健全化に向けて、継続して取組を実施していくこととしている。その結果、平成20年度予算は、老朽化した義務教育施設等の整備や少子化対策などの重点項目には配慮しつつ、集中改革プランに掲げる民間委託等の推進、宅地造成事業会計の健全化などを着実に進めることを盛り込んだものとしている。一般会計においては借換債を除く実質的な歳出規模でも前年度に比べ1.1%の微増にとどまっており、市トータルでの財政健全化をめざす「継続緊縮予算」とした。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. すべてのひとが輝く社会の実現		③私立幼稚園就園助成事業	6,199
①人権啓発事業	1,991	④教育支援事業	1,604
②生活相談事業	2,913	⑤学校支援コーディネーター配置	299
2. ひとを大切に、やすらぎを感じるまちづくり		⑥学校安全緊急対策事業	2,023
①コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業	2,320	⑦北中小学校整備事業	35,710
②高齢者生活支援ハウス事業	1,444	⑧第三中学校整備事業	10,658
③後期高齢者医療事務事業	67,405	⑨佐野中学校整備事業	4,670
④老人医療助成事業	22,174	4. ひとの活力をうみ、うるおいを感じるまちづくり	
⑤障害者ショートステイ・ホームヘルプ事業	11,755	①美化推進事業	3,709
⑥障害者医療費助成事業	18,153	②地域就労支援事業	458
⑦障害者地域生活支援事業	8,637	③商工業振興事業	525
⑧次世代育成支援対策事業 ^⑨	418	④地場産業支援センター管理事業 ^⑩	1,037
⑨放課後児童対策事業	4,444	⑤観光振興事業	671
⑩児童扶養手当事業	57,086	5. ひとが安心し、くつろぎを感じるまちづくり	
⑪民間保育所対策事業	162,547	①第4次総合計画策定	502
⑫母子家庭等自立支援推進事業	695	②コミュニティバス事業	2,782
⑬健康増進事業（健康診査、予防接種等）	16,538	③南海本線連続立体交差事業	17,926
⑭中央保育所民営化整備事業 ^⑪	2,514	④泉佐野駅前広場整備事業	28,262
⑮こだま保育所民営化整備事業 ^⑫	1,185	⑤末広公園整備事業	75,039
⑯障害者福祉計画等策定事業	338	⑥鶴原団地住宅（1～5棟）建替事業	38,448
⑰乳幼児医療費助成事業	9,955	⑦都市計画マスタープラン策定事業	604
3. ひとを豊かに育み、ふれあいを感じるまちづくり		⑧既存建築物耐震化推進事業 ^⑬	90
①国際交流事業	1,209	⑨泉佐野駅前広場（西口）整備事業 ^⑭	10,731
②奨学金貸付事業	1,503	⑩みどりの基本計画策定事業 ^⑮	148

I. 予算の特色

平成20年度予算の編成は、依然として厳しい財政状況の中で新たな財政健全化法を念頭に置きながら臨むことになるが、これまで通り真摯に財政構造の改革を図ることを基本とし、第1の目標としては、実質収支の黒字決算を堅持すること。第2の目標としては、経常収支の更なる改善を図ること。第3の目標としては、実質的な将来負担額の圧縮を早急に進めることとする。

歳入面では、自治体存立の根幹を成す市税収入の確保に最大限の努力を傾注すること。課税客体を的確に把握し、確実な徴税システムを構築するなど、徴収率の向上に向けて組織的な取組をさらに推進すること。また分担金及び負担金、使用料及び手数料を確実に徴収するなど、地方債以外の財源による歳入の増収に努めることとする。

歳出面では、すべての経費について見直しを進め、その縮減に努めること。市民本位の視点から行政サービスの質的充実を推進すべく各部局の創意工夫のもと、現場に十分配慮しながら施策の「選択」と「集中」をこれまで以上に徹底して推進し、限られた財源の適切な配分に努めることとする。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. ふれあいのあるまち いきがいのあるまち		4. 快適なまち 個性のあるまち	
①小学校施設整備事業	17,996	①市営住宅管理事業	6,355
②中学校施設整備事業	8,404	②和泉砂川駅前整備事業	500
③子ども安全パトロール隊街頭犯罪抑止事業	131	③信達樽井線改良事業	72,894
④埋蔵文化財センター事業	698	④砂川榎井線新設事業	9,950
2. げんきなまち やさしさのあるまち		⑤防潮堤道路整備事業	3,147
①母子保健対策事業	2,843	⑥道路新設改良事業	3,586
②乳幼児医療助成事業	6,392	5. 構想実現のために	
③老人集会場改修事業 ^新	3,550	①A B C委員会への助成	311
④高齢者虐待防止緊急一時保護事業 ^新	48	②広報活動の充実	1,592
⑤留守家庭児童対策事業	1,571	③公聴事業	1,128
⑥子育て支援事業	668	④住民情報システムの運用	9,078
3. 安全なまち 活力のあるまち			
①塵芥処理事業	64,969		
②環境整備対策事業	50,819		
③防災用広報システム整備事業	4,723		
④消防体制の整備	3,000		
⑤交通安全対策事業	5,357		
⑥農業振興事業	2,292		
⑦農業公園費	1,042		
⑧商工業振興事業	1,460		
⑨行政情報ネットワーク整備事業	3,764		

I. 予算の特色

平成20年度予算編成は、第二次財政再建実施計画の基本方針である「持続可能な行財政運営システムの構築」を踏まえ、将来に過度の負担を残さずに、激変する市民ニーズへ柔軟に対応するとともに、市民生活に多大な影響を及ぼす財政再生団体への転落をなんとしても回避することを最優先とした。

市税の滞納対策をはじめとする歳入確保の取り組みや、制度・施策の見直しなどの歳出削減方策を盛り込んだが、平成19年7月以降の内科診療休止に伴い市立病院の経営が著しく悪化しており、市立病院の平成19年度末の資金不足を解消するための繰出金を計上したこともあり、非常に厳しい予算編成となった。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 安心・安全のまち：やすらぎのある住環境を支える社会システムの形成		3. 楽しく暮らせるまち：豊かな住生活を支える環境の形成	
①尾崎駅耐震補強事業 ^新	600	①本庁舎等空調設備更新事業 ^新	566
②障害者福祉計画等策定事業 ^新	253	②火葬場修繕事業	664
③障害者自立支援法運営費	280	③ため池整備事業	2,119
④老人福祉センター指定管理委託事業 ^新	2,463	④アダプトプログラム推進事業	19
⑤視覚障害者等支援緊急基盤整備事業 ^新	50	4. 心の豊かさを育むまち：生涯にわたって自分らしく生きる人を育て文化を育む環境の形成	
⑥障害児を育てる地域の支援体制整備事業 ^新	100	①学校等安全緊急対策事業	1,223
⑦日中一時支援事業（障害児タイムケア）	268	②障害児介助員配置事業	3,569
⑧こんには赤ちゃん事業 ^新	2	③ボランティア元気アップ事業	50
⑨乳幼児家庭支援事業 ^新	233	④スクールカウンセラー配置事業	166
⑩私立保育所運営補助事業（特定保育）	27	⑤文化センター指定管理委託事業	6,569
⑪予防接種実施事業（麻しん・風しん）	1,201	⑥文化センター屋上防水改修事業 ^新	3,500
⑫母子保健事業（妊婦健診）	666	⑦自動車文庫車両改造設備購入事業 ^新	150
⑬児童ふれあい交流事業	37	⑧体育施設改修事業 ^新	2,200
⑭既存民間建築物耐震診断補助事業 ^新	45	5. 多様な産業の育つまち：居住都市にふさわしい産業構造の形成	
⑮自主防災組織育成事業	59	①企業誘致促進奨励金交付事業	553
⑯市内中学校AED設置事業 ^新	100	②地域就労支援事業	323
⑰留守家庭児童会指定管理委託事業	4,228	③消費者行政対策事業	186
⑱市立病院繰出金	118,100	④観光振興対策事業	624
2. 出会い、躍動するまち：次世代に引き継ぐ都市基盤の形成		6. 人をおもいやり生かすまち：あらゆる市民が参画し、公正で開かれた地域社会の形成	
①コミュニティバス運行事業	3,677	①議会会議録検索システム運営事業 ^新	65
②戸籍電算システム導入事業 ^新	2,582	②地域まちづくり協議会推進事業	720
③阪和自動車道横断歩道橋補修事業 ^新	1,950	③男女共同参画推進事業	38
④ごみ収集有料化事業 ^新	4,547	④市民活動推進事業	51
⑤和泉鳥取駅前地区整備事業	5,006	⑤人権相談運営事業	270

I. 予算の特色

歳入面では、地方交付税が、地方税の偏在是正などを受けて、全国交付税総額が増加したことなどにより、対前年度比10.0%の増加となっている。また、町税もほぼ前年並みに推移していることなどから、歳入全体としては、若干の改善が見られるものの、依然として厳しい歳入環境にある。

一方、歳出面については、各種事業が完了したことなどにより、投資的経費が大幅に減少しているが、公債費などの経常的経費は若干の減少に留まっているため、基金の取り崩しにより収支均衡を保っている状況が続いている。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. みんなが主役の未来かがやくまちづくり		④ごみ収集事業	88
①総合計画策定事業	849	5. 利便性が高く安全で安心なまちづくり	
②行政改革推進事業	23	①災害対策事務経費	173
2. 生涯の学びを通じてひとを育むまちづくり		②安全・安心なまちづくり事業	1,262
①中家住宅管理事業	457	③自主防犯・防災組織支援事業	30
②熊取交流センター運営事業	119	④地域活動活性化事業	101
③生涯学習推進事業	47	⑤国費ため池等整備事業	6,850
④児童相談事業	239	⑥国費道路新設改良事業	2,500
⑤外国青年英語指導助手招致事業	1,286	⑦大阪和泉泉南線道路改良受託事業	9,815
⑥小学校英語活動推進事業	213	⑧道路維持事業	3,837
⑦中学校改築事業	8,644	⑨上水道の整備	11,658
⑧放課後子ども教室推進事業	106	⑩下水道の整備	28,003
⑨学校安全・安心推進事業	779	6. 活気あふれるにぎわいのあるまちづくり	
⑩総合体育館維持管理事業	293	①商工業振興事業	161
⑪国際交流事業	825	②熊取アトムサイエンスパーク構想推進事業	44
3. 健やかでいきいき暮らせるまちづくり			
①予防接種事業	936		
②土曜日における延長保育の実施(4保育所) ㊦	173		
③子ども総合相談体制の整備	972		
④泉州広域母子医療センター事業 ㊦	965		
⑤老人保健福祉計画策定事業	205		
4. 自然と共生する快適で美しいまちづくり			
①野外活動ふれあい広場管理事業	470		
②住宅整備事業	12,288		
③リサイクル推進事業	81		

I. 予算の特色

平成20年度予算は、町長選挙が執行されることから骨格予算として編成した。予算額は、前年度より大幅な減額となっているが、町債の借換えという特殊要因を除くと、実質的には約7.5%減、一般会計で見ると約3.5%減となる。主要な項目として、母体や胎児の健康を確保するために妊婦健康診査の公費負担の充実を図るほか、各公共施設にAEDの設置を盛り込んだ。歳入面では、固定資産税の増加が見込めるものの、今後長期的視点で見ると収支の均衡がとれず赤字財政が続くという厳しい状況であり、緊縮型予算として編成した。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 元気と安心の暮らしづくり		6. であいと暮らしの基盤づくり	
①老人福祉センター事業	580	①泉州黄玉ねぎの普及支援事業	6
②障害者地域生活支援事業	1,489	②商工振興資金利子補給事業	1,500
③心身障害児通園事業	1,046	③企業誘致促進奨励事業	2,050
④妊婦健康診査委託事業	167	④地域就労支援事業	468
⑤老人医療費助成	700	7. 住民主体のまちづくり	
⑥一部負担金助成	1,600	①まちづくり講演会の実施	25
⑦障害者医療費助成	750	8. 財政健全化に向けた取組み	
⑧ひとり親家庭医療費助成	600	①歴史館指定管理者指定委託	500
⑨乳幼児医療費助成	1,500	②多目的グラウンド指定管理者指定委託	391
⑩放課後子ども教室推進事業	48	9. その他	
⑪安全なまちづくり推進事業	18	①地方公営企業等金融機構出資	100
⑫泉州広域母子医療センター運営協力事業	202		
⑬庁舎整備事業	195		
2. 水と緑の環境づくり			
①遊休農地対策事業	31		
②ごみ減量化及びリサイクル関係事業	25		
3. ふれあいと人権尊重のまちづくり			
①人権協会の運営	87		
4. 明日につながる「まち文化」づくり			
①教育相談事業	232		
②町史編纂事業	36		
③学校給食調理業務委託	1,730		
5. ゆたかな暮らしの基盤づくり			
①地籍調査事業	1,135		
②下水道（雨水管整備）事業	21,200		

I. 予算の特色

歳入については、都市公園区域の変更を契機として課税することになった固定資産税は増加したものの、町民税の減少が予想され、町税はわずかな増収にとどまる見通しである。また、譲与税・交付金においても、国・府の税収が減少となる見通しから減収が見込まれるとともに、地方交付税も減少する見通しとした。一方、歳出については、「集中改革プラン」により人件費や物件費は減少したものの、公債費や新たに創設された後期高齢者医療に伴う負担金など社会保障関係経費などが増加となった。新規事業については、国、府等の補助事業を原則とし、学校や住宅の耐震診断やリサイクル施設の整備など安全の確保や環境対策に取り組むものや、関係法令に基づくものに限り予算措置を行った。このような大変厳しい状況の中で、再生団体への転落回避に向け、「第3次総合計画」に掲げる「笑顔あふれる いきいきタウン “みさき”」の実現に向けて、限られた財源を活用する内容とした。

II. 施策体系別主要事業一覧

	予算額 単位万円		予算額 単位万円
1. 自然のもとで、元気に安心して暮らせるまち		⑧幼児教育支援センター事業 ^新	509
①がん、肝臓疾患対策等のための各種検診の実施	691	⑨淡輪幼稚園耐震診断事業 ^新	32
②各種医療助成事業（乳幼児・老人・障害者）	11,427	3. 自然を生かして、いきいき魅力満載のまち	
③高齢者・身体障害者住宅改造事業補助金	180	①漁港改修事業	2,325
④生活支援ハウス運営事業	1,254	②地域活性化イベント開催補助金	30
⑤障害福祉サービスの実施	15,535	③地域就労支援事業	399
⑥放課後児童健全育成事業	1,393	④有害・鳥獣等防除事業	50
⑦子育て支援事業 （子育て支援センター事業を含む）	438	⑤海釣り公園整備事業	4,500
⑧児童措置事業	11,076	⑥農山漁村活性化施設整備事業 ^新	1,734
⑨健康ふれあいセンターの運営 （指定管理者制度）	6,913	4. 自然を守り、安全で快適に暮らせるまち	
⑩地域福祉計画策定事業	224	①自然海浜保全事業の実施	277
⑪高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業 ^新	250	②家庭ごみ等分別収集事業	14,867
⑫障害者自立支援特別対策事業 ^新	211	③粗大ごみ等不法投棄対策事業 ^新	376
⑬後期高齢者医療事業 ^新	21,640	④ごみ減量化対策事業 ^新	60
2. 自然にふれあい、心豊かに暮らせるまち		⑤リサイクル施設整備事業 ^新	22,848
①地域青少年社会教育総合事業	289	⑥消防ポンプ自動車整備事業 ^新	1,934
②外国青年招致事業	594	⑦防災訓練事業（近畿2府7県合同防災訓練） ^新	313
③スクールカウンセラー設置事業	97	5. 自然と共生し、便利に暮らせるまち	
④進路支援事業	189	①路線バス対策補助金	4,200
⑤学校水泳事業	523	②下水道事業の推進	29,711
⑥多奈川小学校体育館耐震診断事業 ^新	190	③第二阪和国道建設促進事業	1,703
⑦おおさか元気広場推進事業 ^新	90	④公営住宅改修事業	610
		⑤土砂採取跡地整備事業（大阪府受託事業）	30,290
		⑥公営住宅耐震診断事業 ^新	260